

足立区ユニバーサルデザイン推進計画
令和2年度実施事業 評価報告書
(区が実施する施策の評価結果)

令和4年4月

足立区都市建設部都市建設課
ユニバーサルデザイン担当課

総評 個別施策の評価にあたって

本推進会議では、本年も足立区における令和2年度ユニバーサルデザイン推進事業評価を行いました。

近年において、本推進事業は成熟期にさしかかったと考えています。ここ数年の総評を振り返ると、各所管部課の懸命な努力にもかかわらず、評価点があまり上がっていない傾向があることが述べられています。事業の草創期や発展期と比較すると、現在では前年度の比較において、目に見えて大きく発展したという事実が見えにくいのかと思います。そして、さらに高い目標を評価委員である私たちや区民が求めていく傾向があります。よって各事業評価において「まだまだ、もう一歩」ということばが代表するように、がんばってもなかなか百点満点にならないというジレンマをお持ちの関係部課の方々もおいでのことと思います。

事業評価を毎年点数化するといったこれまでの評価方式については、今後見直しがあるかもしれません。しかし、評価点がなかなか上がらないのは、私たちがさらなる高い目標設定をするという意図があり、関係部課の方々の「今の進み具合ならきっと達成できる」という期待感があるからだ、と、改めて申し上げたいと思います。百点満点にならないのは、そうした期待感がより強いとお考えいただければ幸いです。

とくに、学校施設ならびに教育関係においては、近年の足立区の発展は大きいと思っています。次世代のユニバーサルデザインを担う人々へのさらなる啓発は、教育機関のみで行われているわけではありません。施設の充実、情報提供を含む窓口対応の質的向上は、次世代を担う人々により影響を与えていると思います。これからもユニバーサルデザイン推進事業は区のレガシーとなっていくと思います。よりよいユニバーサルデザイン推進事業に最も必要なレガシーは、着実に積み上げられていると考えました。

令和4年3月

足立区ユニバーサルデザイン推進会議
会 長 八 藤 後 猛

目 次

I ユニバーサルデザイン推進計画とは

- 1 ユニバーサルデザイン推進計画の策定・・・・・・・・・・ 1
- 2 ユニバーサルデザイン推進計画の構成(全体イメージ)・・・・・・ 1

II 実績の評価

- 1 評価の考え方・・・・・・・・・・ 2
- 2 評価の体制・・・・・・・・・・ 2
- 3 評価の流れ・・・・・・・・・・ 3
- 4 評価方法・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 施策の各事業における自己評価・・・・・・・・・・ 4
 - (2) 施策における推進会議の評価・・・・・・・・・・ 4

III 施策の評価結果

- 1 施策一覧と評価結果・・・・・・・・・・ 5
- 2 評価結果の概要・・・・・・・・・・ 6
 - (1) 評価結果・・・・・・・・・・ 6
 - (2) 今後の方針・・・・・・・・・・ 6
- 3 施策の評価シートの見方・・・・・・・・・・ 7
 - (1) 表題・・・・・・・・・・ 7
 - (2) 個別事業・・・・・・・・・・ 8
 - (3) 施策の評価・・・・・・・・・・ 9
- 4 施策および各個別事業の評価調書・・・・・・・・・・ 10
 - ・ 施策および各個別事業一覧・・・・・・・・・・ 11
 - 柱-1 思いやりある『ひとづくり』・・・・・・・・・・ 15
 - 柱-2 快適に過ごせる『くらしづくり』・・・・・・・・・・ 60
 - 柱-3 便利に生活できる『まちづくり』・・・・・・・・・・ 89
 - 柱-4 みんなに役立つ『しくみづくり』・・・・・・・・・・ 142

I ユニバーサルデザイン推進計画とは

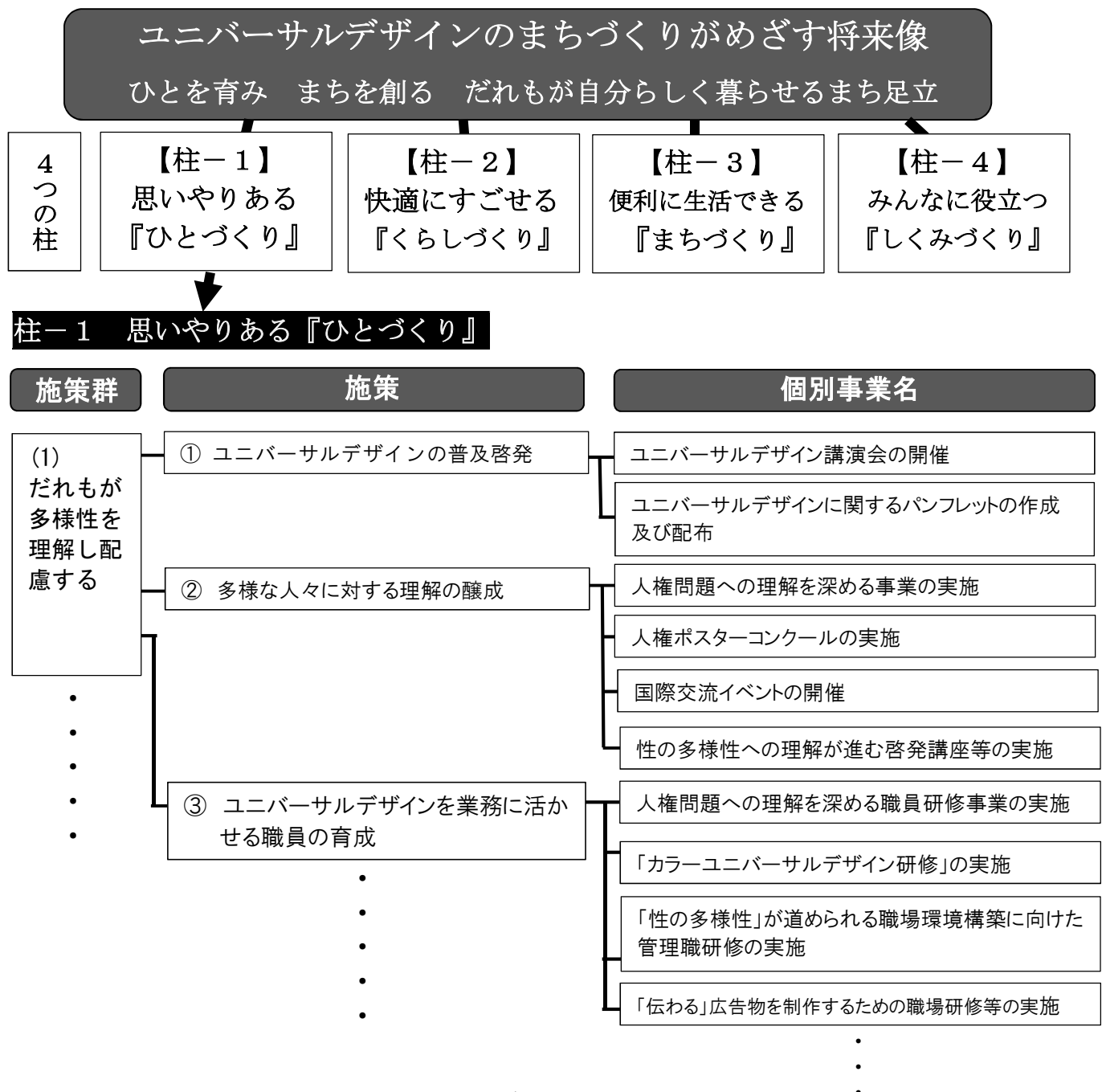
1 ユニバーサルデザイン推進計画の策定

平成24年に足立区は、「足立区ユニバーサルデザインのまちづくり条例」を制定し、障がいのある方もない方も、子どもも高齢者も、互いの個性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重され、すべての人がいきいきと安心して暮らせるまちの実現をめざしました。

そのユニバーサルデザインのまちづくりを体系的かつ総合的に推進していくために、区の基本構想及び基本計画を踏まえ各個別計画と連携を図りながら、平成26年8月に策定したのが「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」です（以下「推進計画」という）。

その後、ユニバーサルデザインを取り巻く社会情勢の変化に対応すべく、令和2年2月には、令和7（2025）年度までの7カ年の計画として推進計画を改定し、「ひとを育み まちを創る だれもが自分らしく暮らせるまち 足立」を目標に掲げ、「ひと」「くらし」「まち」「しくみ」の4つの視点から施策を整理し直しました。

2 ユニバーサルデザイン推進計画の構成（全体イメージ）



II 実績の評価

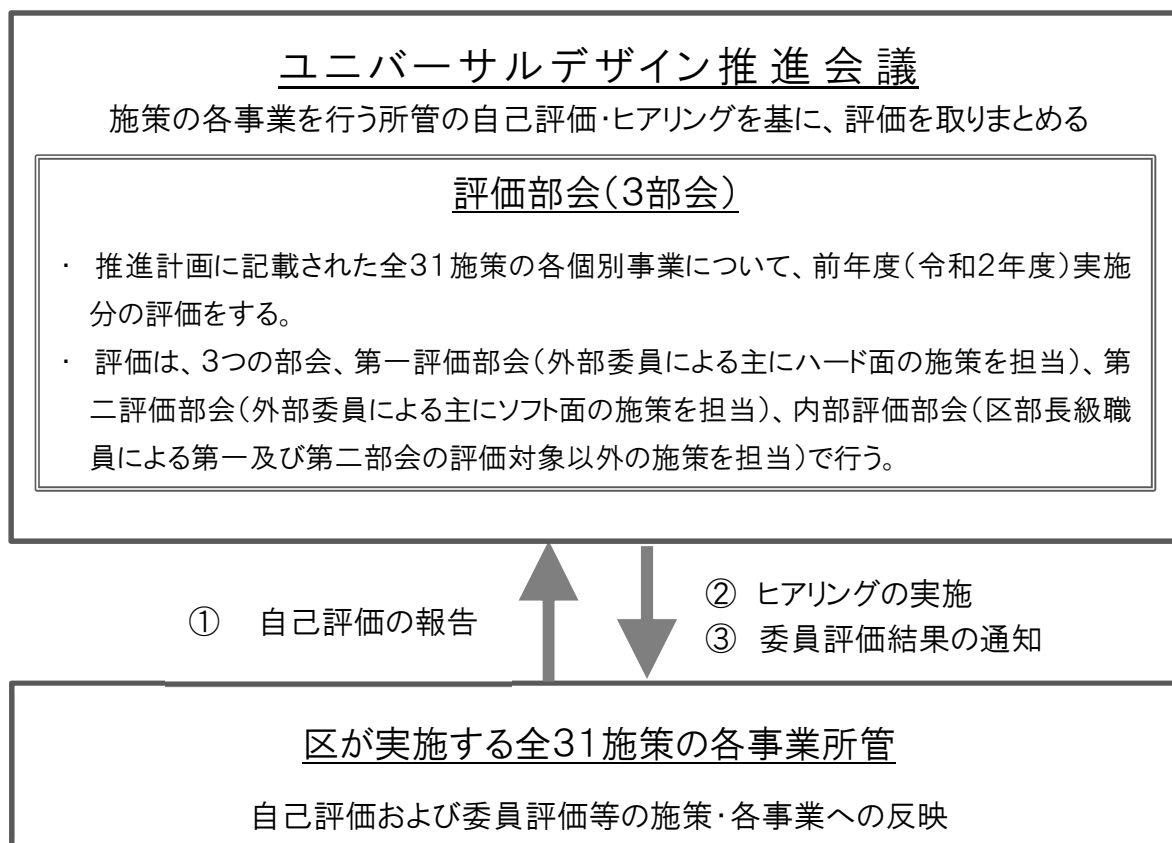
1 評価の考え方

推進計画は毎年、各施策とその施策の個別事業の評価を行っています。

各施策の個別事業の担当所管による自己評価を行った後、ユニバーサルデザイン推進会議委員（学識経験者等）による総括意見と総合評価を受けています。

2 評価の体制

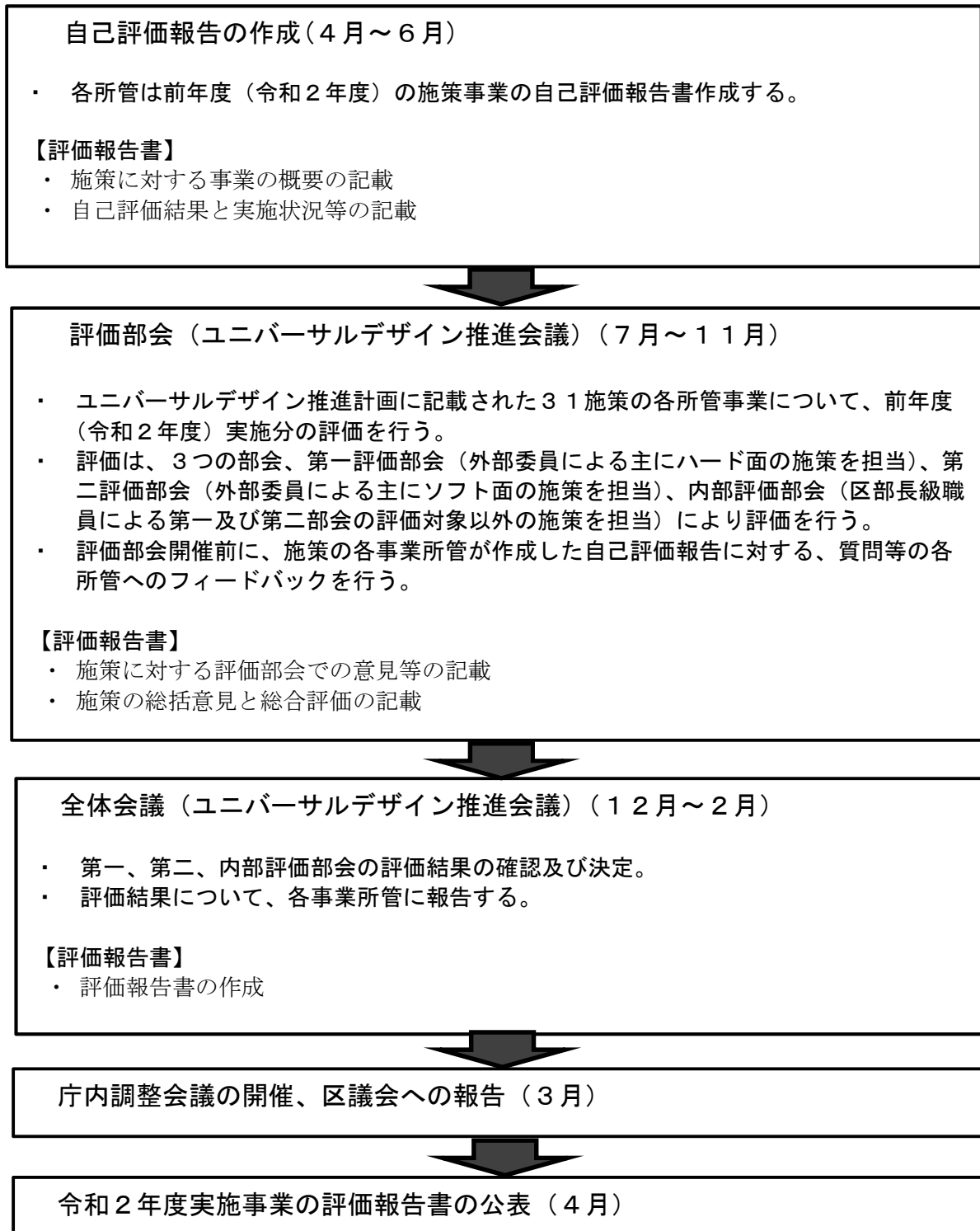
ユニバーサルデザイン推進会議は、15名の委員（学識経験者・関係団体・事業者・公募区民・区職員）で構成され、ユニバーサルデザインのまちづくりに関する基本的な計画である、「推進計画」の進行管理を以下の通り行っています。



※ 所管: 施策の各事業を実施する部署

3 評価の流れ

施策の各事業所管による自己評価報告書の作成後、評価部会は、自己評価報告書に対する質問等を行います。その後、各所管とのヒアリング等を踏まえ評価を実施、全体会議(ユニバーサルデザイン推進会議)で評価内容を決定した上で、庁内調整会議の開催、建設委員会への報告を経て、区ホームページ上に公表します。



4 評価方法

(1) 施策の各事業における自己評価

【評価者】 各事業の所管課

- ユニバーサルデザイン推進計画の施策の各事業の実施結果につき「実績」「効果」「課題」等の内容とともに、自己評価結果欄に「計画どおり進行」「計画を一部変更して進行」「その他」のいずれかを記載します。

推進計画の施策の各事業の自己評価






実施状況	自己評価結果	内容
	計画どおり進行	年次計画の通り、実施した場合
	計画を一部変更して進行	何らかの事情により年次計画を一部変更して、実施した場合
	その他	その他、計画の見直しや事業の未実施等の理由による場合

(2) 施策における推進会議の評価

【評価者】 ユニバーサルデザイン推進会議委員（学識経験者等）

- 施策の各事業の自己評価後、ユニバーサルデザイン推進会議の評価部会において、推進会議委員が、各事業の所管課とのヒアリング等を踏まえ、施策を5段階で評価（「1点」～「5点」）する。

施策の総合評価、5段階評価の評価点と総括意見について

総合評価の実施方法		
総合評価の方法	評価部会において、推進会議委員が施策の各事業の所管課とのヒアリングを踏まえ、「実績」「効果」「課題」の3つの視点で議論し、施策ごとにまとめた各所管の評価結果を踏まえ、下記の「5段階評価」で評価する。なお、その結果については、ユニバーサルデザイン推進会議で精査し、「総括意見」を加え、決定する。	
総合評価		5段階評価の意味
5段階評価点	評価のイメージ図	
5段階評価の5	★★★★★ 	
5段階評価の4	★★★★☆ 	
5段階評価の3	★★★☆☆ 	
5段階評価の2	★★☆☆☆ 	
5段階評価の1	★☆☆☆☆ 	
総括意見	各評価部会で評価した施策に対するユニバーサルデザイン推進会議としての意見を、「総括意見」として記入する。	

III 施策の評価結果

1 施策一覧と評価結果

施策番号	施策名	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	ページ
柱一 思いやりある『ひとづくり』									
1-(1)-①	ユニバーサルデザインの普及啓発	4	4	4	4	4	4	4	15
1-(1)-②	多様な人々に対する理解の醸成	4	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>2</u>	4	<u>3</u>	<u>3</u>	19
1-(1)-③	ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成	4	5	4	5	4	4	4	25
1-(2)-①	児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進	<u>3</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	4	4	4	5	36
1-(2)-②	児童・生徒への国際理解教育の推進	4	4	4	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>2</u>	42
1-(2)-③	学習環境におけるユニバーサルデザインの推進	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	4	45
1-(3)-①	多様な人々の連携・支援	4	4	4	4	<u>3</u>	4	4	52
柱二 快適にすごせる『くらしづくり』									
2-(1)-①	多様な人々への移動支援	4	4	4	4	4	4	4	60
2-(1)-②	多様な人々へのコミュニケーション支援	4	4	4	4	4	4	4	67
2-(2)-①	住宅の改良支援	4	<u>3</u>	4	4	4	4	4	72
2-(2)-②	住宅確保要配慮者への居住支援	(新たに計画に位置付けた施策)					<u>3</u>	4	78
2-(3)-①	ユニバーサルデザイン製品の周知啓発	<u>1</u>	<u>3</u>	4	4	<u>3</u>	4	4	81
2-(3)-②	ユニバーサルデザイン製品の開発支援	<u>1</u>	4	4	4	<u>3</u>	4	<u>3</u>	86
柱三 便利に生活できる『まちづくり』									
3-(1)-①	安全な道路環境の整備	4	4	4	4	4	4	4	89
3-(1)-②	歩行者空間の確保	4	4	4	5	5	4	4	96
3-(1)-③	公共交通施設の整備・誘導・支援	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	4	4	100
3-(2)-①	公共建築物のユニバーサルデザインの推進	4	4	5	4	4	4	4	104
3-(2)-②	区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進	4	4	5	4	4	4	5	111
3-(2)-③	区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進	4	4	5	4	4	4	4	115
3-(2)-④	区営住宅のユニバーサルデザインの推進	<u>1</u>	<u>3</u>	5	5	4	4	4	119
3-(3)-①	区立公園等のユニバーサルデザインの推進	<u>3</u>	4	4	4	4	4	4	123
3-(3)-②	公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進	4	4	<u>3</u>	4	4	4	5	127
3-(3)-③	イベント会場等のユニバーサルデザインの推進	(新たに計画に位置付けた施策)					4	5	130
3-(4)-①	国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導	4	4	4	4	4	4	4	133
3-(4)-②	民間建築物のユニバーサルデザインの誘導	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	<u>3</u>	4	<u>3</u>	4	137
柱四 みんなに役立つ『しくみづくり』									
4-(1)-①	ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理	4	5	4	4	4	4	5	142
4-(1)-②	区民の意見を区政に反映させる体制の充実	<u>3</u>	<u>3</u>	4	4	4	4	4	146
4-(2)-①	ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用	4	5	5	5	4	4	5	156
4-(2)-②	わかりやすい表現による印刷物の作成	5	5	5	5	5	4	5	160
4-(2)-③	だれもが利用しやすい電子情報の作成	4	4	4	4	<u>3</u>	<u>3</u>	4	167
4-(3)-①	効果的な防災・災害情報等の提供	4	<u>3</u>	4	4	<u>3</u>	4	4	172
平均点 (※ H26～30 は旧施策に基づく評価点)		3.55	3.74	3.95	3.97	3.84	3.87	4.10	ページ
評価は5から1点までの5段階 5点…最上位 1点…最下位 (3点以下下線表記) ※外部委員評価 … 網掛け									

Ⅲ 施策の評価結果

2 評価結果の概要

(1) 評価結果

- ・ 評価結果は、2点以下の評価となった事業が出たものの、全施策の平均は4.10点と昨年度と比べて、0.23ポイント上昇し、平均点は4点台に達した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下において、施策及び各事業の実施そのものが危ぶまれる中、各所管ができる範囲で課題解決に向けた工夫や努力を行った結果、5点の評価が昨年度より大幅に増加した。
例えば、1-(2)-①「児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進」では、「コロナ禍においても情報通信技術都等を用いて事業を実施し、それを児童らに示したのは大変意味深い」との評価があった。その他にも5点施策が7件増加。
- ・ 今後も、今回の委員意見や評価結果、新しい生活様式等を踏まえた事業の見直しなどの検討を行ない、施策の一層の充実に努めるよう期待する。

施策の評点表（該当施策の数を示す）

事業実施年度	施策数	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
令和元年度の施策事業	31	0	27	4	0	0	3.87
令和2年度の施策事業	31	5	21	2	1	0	4.10

(2) ユニバーサルデザイン推進会議の今後の方針

- ・ 今回の評価結果を、各所管を含め広く周知していく。また、評価過程で出た意見等を真摯に受け止め、ユニバーサルデザインのまちづくりのスパイラルアップを図っていく。
- ・ 昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症により、区の施策事業についても中止、延期、見直しなどを余儀なくされている。今後も各担当所管が新しい生活様式を様々な形で模索・実践しながら、施策・事業を展開していくよう求めていく。
- ・ 評価委員より「平成25年度から足立区では、ユニバーサルデザインに関する施策を各所管課で実施しており、国内でも東京2020オリンピックパラリンピックの開催決定を契機に、ユニバーサルデザインの世間での認知は高まっている。そうした中、「ようやく足立区のユニバーサルデザインに関する施策も『種を蒔き、芽が出るように育てる局面』から『芽をより大きく育てていく局面』に変化してきている」との意見があった。推進会議においても、各担当所管で施策の検証を行い、新しい価値観も取り入れながらユニバーサルデザインに関する施策をより発展させるすべく、施策の見直しを含めて議論を行いながら、改善を検討する。

3 施策の評価シートの見方

(1) 表題

柱立て ひとつづくり
施策群 だれもが多様性を理解し配慮する

■施策名等

施策の「柱立て(4つの柱)」「施策群」「施策番号」「施策名」を記載しています。

施策 1-(1)-㉔

多様な人々に対する理解の醸成

施策の個別事業

- 1 人権問題に関する講演会等の実施 (総務課)・・・ P16
- 2 人権ポスターコンクールの実施 (総務課)・・・ P17
- 3 あだち国際まつりの開催 (地域調整課)・・・ P18
- 4 性の多様性への理解が進む啓発講座等の実施 (多様性社会推進課)・・・ P19

■施策の個別事業

施策の個別事業について、担当所管を含め記載しています。

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価)・・・ P20

■施策の評価

施策の評価をしたページを記載しています。

3 施策の評価シートの見方

(2) 個別事業

■ 施策に対する各事業の概要

ユニバーサルデザイン推進計画によって計画された、施策に対する各事業の目的、事業概要、取り組みに対する指標（目標値）を記載しています。

施策：多様な人々に対する理解の醸成

個別事業名：人権問題に関する講演会等の実施（総務課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取り組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 様々な人権問題に対する理解を深める。また、企業関係者等への啓発を促す。				
【事業概要】 人権問題について区民の理解と認識を一層深めることを目的として、人権問題に関する講演会等を実施する。				
計画年度	2019年度	2020年度		
取り組みに対する指標				
①→講演会等の開催回数（回/年）	①→4回	①→4回	①→	
②→講演会等の参加人数（人/年）	②→530人	②→530人	②→	
③→講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合（%）	③→95%	③→95%	③→95%	③→95%

■ 自己評価結果と実施状況等

担当所管が自己評価として、以下の3つの中から該当するものを選択しています。

- ・計画どおり進行
- ・計画を一部変更して進行
- ・その他

また、実施状況等について記載しています。

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
人権問題に関する講演会等については、区民企画講座(令和2年9月19日、10月3日)、人権のつどい(令和2年12月7日)、人権講座(令和3年2月頃)を企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い全て中止とした。	本事業に関しては、左記の通り、すべて中止したため、達成できなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、開催を判断する。令和3年度も人権問題に関する講演会として「区民企画講座」「人権のつどい」「人権講座」を実施する予定である。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

3 施策の評価シートの見方

(3) 施策の評価

■評価部会での意見

評価部会において、推進会議委員が各事業課とのヒアリング等を踏まえ、表記する必要があると、ユニバーサルデザイン推進会議で判断したもののについて記載。

1-(1) ② 多様な人々に対する理解の醸成

施策の評価

施策名：多様な人々に対する理解の醸成

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

LGBTの方についての啓発や配慮が事業化されている。Trance-Sexual[※]ではなくトランスジェンダリズム[※]の話であるが、ある意味で過度な「配慮」によって、女性の抑圧につながってしまうのではないかと懸念されている。

誰かの「バリア」の解消によって、ほかの方たちのバリアが生まれるということが、まさに今ぶつかっているようなところだと、各種報道がなされている。もちろんそれぞれ個別の施策に取り組んでいただくのは必要ですが、それらのバランスをどうとるかというところで、この様々なニーズ、事情を持つ人々の人権に関する理解の醸成のコントロール役というか、行政が果たすべき一番大事なところでもある。今後とも連携が図られていくことを期待している。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況だからこそ出てきてしまった「差別」もあった。まさに昨年度における重大な人権問題であった。「計画どおりに進行」というだけでなく、目の前で起きている人権問題について何を考えたのかという対応とその成果が出てきてこそ「事業」ではないかと感じる。「計画どおりにやる」ことは目的ではない。人権問題の解決をすることが目的である。これらについて何もコメントがなく、今日も聞かれなかったのは残念。

「できない」ではなく、こうした状況の中でも何ができたのかということをもとめ、発言していただきたい。


※Trance-Sexual (トランスセクシュアル)

「身体の性と心の性が異なるため、外科的手術によって一致させることを望む人や考え方のこと」を言います

※トランスジェンダリズム

「性別の自己決定権と多様な性を肯定した考え方」を言います。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している影響下で、できなくなってしまった計画もあることはやむを得ません。その中で、何ならできるか、あるいは、どのようにであればできるかという発想で、対応されたいと思います。またこの一年では、世界的な動きとして、一部のトランスジェンダリズム[※]における女性の権利のある面での対立も指摘されています。ユニバーサルデザインの観点では、各人の人権のぶつかり合いが生じないよう調整することが、重要になります。新型コロナウイルス感染症が拡大している中では、医療従事者や感染者への差別も社会問題となりました。事前に掲げる内容だけでなく、その時に必要な対応を期待します。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 3点</p>

■施策の総括意見と総合評価

総括意見 各評価部会で評価した施策に対するユニバーサルデザイン推進会議としての意見を、「総括意見」として記入する。

ユニバーサルデザイン推進会議において、総合評価を以下の5段階で評価した。

5点 優れた取り組みがなされ、満足できる成果となっている。

4点 良い取り組みがなされ、成果が十分に出ている。

3点 取り組みがなされ、成果が出ている。

2点 取り組みに課題があり、成果があまり出していない。

1点 取り組みに課題があり、成果が出ていない。または、実施していない。

Ⅲ 施策の評価結果

4 施策および各個別事業の評価調書

施策および各個別事業の評価調書

施策および各個別事業一覧

柱1 思いやりある『ひとづくり』			頁
施策群（1）だれもが多様性を理解し配慮する			
施策① ユニバーサルデザインの普及啓発			
ユニバーサルデザイン講演会の開催	ユニバーサルデザイン担当課		16
ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び配布	ユニバーサルデザイン担当課		17
施策② 多様な人々に対する理解の醸成			
人権問題に関する講演会等の実施	総務課		20
人権ポスターコンクールの実施	総務課		21
国際交流イベントの開催	地域調整課		22
性の多様性への理解が進む啓発講座等の実施	多様性社会推進課		23
施策③ ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成			
人権問題への理解を深める職員研修事業の実施	人材育成課		26
「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施	総務課		27
「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施	総務課		29
“伝わる” 広報物を制作するための職場研修等の実施	シティプロモーション課		30
ホームページ・SNS を利用した情報発信力強化	報道広報課		32
ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施	ユニバーサルデザイン担当課		34
施策群（2）幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる			
施策① 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進			
パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施	経営戦略推進担当課		37
ユニバーサルデザイン出張講座の実施	ユニバーサルデザイン担当課		39
施策② 児童・生徒への国際理解教育の推進			
区立小中学校での国際理解教育の実施	地域調整課		43
施策③ 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進			
「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備	教育指導課		46
区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施	教育指導課		47
区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導	教育指導課		48
特別支援教育における ICT 活用について	支援管理課		49

Ⅲ 施策の評価結果

柱1 思いやりある『ひとづくり』			頁
施策群（3）だれもが互いにつながり支え合える			
施策① 多様な人々との連携・支援			
日本語ボランティア教室の支援	地域調整課		53
初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施	スポーツ振興課		54
高齢者が地域とのつながりを保ち続ける社会づくりの担い手を養成	地域包括ケア推進課		56
認知症カフェの実施	地域包括ケア推進課		57
障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣	障がい福祉課		58

柱2 快適にすごせる『くらしづくり』			頁
施策群（1）だれもが安心して生活できる環境を充実させる			
施策① 多様な人々への移動支援			
シルバーカー購入費用の一部助成	高齢福祉課		61
障がい者への様々な移動手段を確保する	障がい福祉課		62
施設通所バスの運行	障がい福祉センター		64
高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供	交通対策課		65
施策② 多様な人々へのコミュニケーション支援			
外国人相談の充実	地域調整課		68
補聴器の支給や購入の支援・磁気ループの貸し出し	障がい福祉課		69
施策群（2）だれもが暮らしやすい住宅を確保する			
施策① 住宅の改良支援			
高齢者に対する住宅改修費用の助成	高齢福祉課		73
要支援・要介護認定者の住環境の改善	介護保険課		74
高齢者・障がい者向け住宅改良事業への支援を行う	障がい福祉課		75
段差解消等の住宅改良助成制度	建築安全課		76
施策② 住宅確保要配慮者への居住支援			
住宅確保要配慮者に対する住宅あっせん事業	住宅課 高齢福祉課		79
施策群（3）だれもが使いやすい製品を普及させる			
施策① ユニバーサルデザイン製品の周知啓発			
区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及を支援する	産業振興課		82
ユニバーサルデザイン製品の展示	ユニバーサルデザイン担当課		83
施策② ユニバーサルデザイン製品の開発支援			
区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する	産業振興課		87

柱3 便利に生活できる『まちづくり』			頁
施策群（1）だれもが円滑に移動できる環境を整備する			
施策① 安全な道路環境の整備			
歩行者系案内サインに関する各種取組み	都市計画課		90
自転車ナビマークの整備	交通対策課		91
歩車道のバリアフリー化工事	工事課		92
都市計画道路の整備	街路橋りょう課		93
施策② 歩行者空間の確保			
駅前における放置自転車対策について	交通対策課		97
歩行者が安心できる道路環境作り	防犯設備課		98
施策③ 公共交通施設の整備・誘導・支援			
「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の策定	企画調整課		101
「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備	交通対策課		102
施策群（2）だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する			
施策① 公共建築物のユニバーサルデザインの推進			
本庁舎施設の整備	庁舎管理課 中部地区建設課		105
ユニバーサルデザインに配慮した公共建築物を整備する	中部地区建設課		106
住区センターの案内サインの整備	住区推進課		108
大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムの設置	中央図書館		109
施策② 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進			
ユニバーサルデザインに配慮した学校施設整備設計	中部地区建設課		112
施策③ 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進			
保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等	子ども施設運営課		116
施策④ 区営住宅のユニバーサルデザインの推進			
新田地域における区営住宅の集約建替えについて	住宅課 区営住宅更新担当課		120
施策群（3）だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する			
施策① 区立公園等のユニバーサルデザインの推進			
区立公園等のユニバーサルデザインの推進	みどり推進課		124
施策② 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進			
西新井東・西新井西自転車駐車場の整備	交通対策課		128
施策③ イベント会場等のユニバーサルデザインの推進			
イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援	シティプロモーション課		131

Ⅲ 施策の評価結果

柱3 便利に生活できる『まちづくり』			頁
施策群（4）だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する			
施策① 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導			
	都立中川公園整備の検討	企画調整課	134
	「公共施設等整備基準 事前協議」の実施	都市計画課	135
施策② 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導			
	ユニバーサルデザインに配慮した民間施設の整備を促進する	障がい福祉課	138
	小規模事業者経営改善補助金の活用	産業振興課	139
	大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進	開発指導課	140

柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』			頁
施策群（1）参加しやすい開かれた区政を運営する			
施策① ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理			
	ユニバーサルデザイン推進会議の実施	ユニバーサルデザイン担当課	143
施策② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実			
	パブリックコメントの実施	政策経営課	147
	審議会委員等の公募制の推進	政策経営課	149
	審議会等の女性比率向上の取組みについて	区民参画推進課	151
	「区民の声」のサービスアップの取組み	区民の声相談課	152
	道路、公園、施設及び通学路の点検	学務課、ユニバーサルデザイン担当課	153
施策群（2）だれにでも伝わる情報を作成・発信する			
施策① ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用			
	外注印刷物作成報告書の確認	総務課	157
	ウェブアクセシビリティに配慮した情報発信	報道広報課	158
施策② わかりやすい表現による印刷物の作成			
	だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する	報道広報課	161
	ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する	関係各課	163
施策③ だれもが利用しやすい電子情報の作成			
	区ホームページの改善と SNS 発信力強化	報道広報課	168
	区議会ホームページの作成	区議会事務局	170
施策群（3）災害から身を守る情報を提供する			
施策① 効果的な防災・災害情報等の提供			
	A-メール・安心電話による台風第 19 号関連の情報発信	報道広報課	173
	災害時に必要な情報の提供	災害対策課	175
	洪水ハザードマップによる水害情報の発信	企画調整課	177

柱立て 思いやりある『ひとづくり』
施策群 だれもが多様性を理解し配慮する

施策 1-(1)-①

ユニバーサルデザインの普及啓発

施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザイン講演会の開催（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・・P16
- 2 ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び配布
（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・・P17

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・P18

施策：ユニバーサルデザインの普及啓発

個別事業名：ユニバーサルデザイン講演会の開催
(ユニバーサルデザイン担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 様々な人にユニバーサルデザインの理念を広める。				
【事業概要】 区民、事業者、他自治体、区職員等、すべての人を対象にユニバーサルデザインに関連する講演会を実施する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 講演会等の開催回数 (回/年)	1回	1回 ----- 1回	1回	1回
② 講演会等の参加人数 (人/年)	300人	300人 ----- 22人	300人	300人
③ 講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合(%)	80%	80% ----- 80%以上	80%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>区民、事業者、区職員など、多くの人にユニバーサルデザインの理解を深める講演会を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、区のユニバーサルデザインに関係する方のみを招待し、11月に実施した。(参加者22名:職員、UD推進会議等関係者事業者、他自治体職員など)</p> <p>生活に欠かせない商品を総合的に取り扱うショッピングモールを運営するイオンモール(株)の担当者を講師として、取組みを紹介するパネルを展示した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、人々の生活と密接に関係するショッピングモールでのユニバーサルデザインな視点や考え方を取り入れた事例を紹介していただいた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小して実施せざるを得なかった。コロナ禍においては、動画での配信やデジタルを用いた講演会についても、十分検討が必要であり、新しい生活様式にあわせた講演会の方法を検討していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：ユニバーサルデザインの普及啓発

個別事業名：ユニバーサルデザインに関するパンフレットの作成及び
配布（ユニバーサルデザイン担当課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 様々な人にユニバーサルデザインの理念を広める。				
【事業概要】 ユニバーサルデザインに関するパンフレット等を作成し、配布する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
パンフレット等によるユニバーサルデザインの周知方法	目標	パンフレット作成	配布	→
	結果		実施した	

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>ユニバーサルデザインに関する講演会やイベントに合わせて、参加者へパンフレットを配布した。</p> <p>区内小学校へ出張講座にあわせて児童や生徒へパンフレットを配布した。</p> <p>配布部数：約1600部</p>	<p>昨年度推進計画の改定にあわせてパンフレットを以前より大幅に多く印刷することにより、多くの機会でのこのパンフレットを配布できるようになった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大する状況下で、非接触をできる限り推し進めることの必要性から、児童・生徒各自に配布することができるようになった。</p> <p>このため、生徒・児童に対してユニバーサルデザインを考えるきっかけを与えることができた。</p> <p>加えて、生徒・児童がパンフレットを持ち帰ることで、保護者の目に触れ、家庭でもユニバーサルデザインを考える機会をつくった。</p>

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： ユニバーサルデザインの普及啓発


●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

今まで想定されていた「障がい」や、困難に加えて、ほかにもいろいろな要配慮事項が明らかになってきている。そうした中で、誰にどういう情報を届けるかというところについては、段々とフェーズが変化してくるものであり、こうした視点も年度ごとの事業の検証や計画に含む必要がある。

次の変化に向けて必要な知見が蓄積されていくことを期待している。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>「誰に」UDの概念を伝えていきたいかで、媒体や内容のレベル設定が異なります。また、障がい(困難)の捉え方にも変化が予想されます。事業を行いつつ、常にアップデートを企画されることを期待しています。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 だれもが多様性を理解し配慮する

施策 1-(1)-②

多様な人々に対する理解の醸成

施策の個別事業

- 1 人権問題に関する講演会等の実施（総務課）・・・・・・・・・・ P20
- 2 人権ポスターコンクールの実施（総務課）・・・・・・・・・・ P21
- 3 国際交流イベントの開催（地域調整課）・・・・・・・・・・ P22
- 4 性の多様性への理解が進む啓発講座等の実施（多様性社会推進課）・・・・ P23

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P24

施策：多様な人々に対する理解の醸成

個別事業名：人権問題に関する講演会等の実施（総務課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】</p> <p>様々な人権問題に対する理解を深める。また、企業関係者等への啓発を促進し、人権問題の解決を目指す。</p> <p>【事業概要】</p> <p>人権問題について区民の理解と認識を一層深めることを目的として、人権問題に関する講演会等を実施する。</p>					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① 講演会等の開催回数（回/年）	目標	4回	4回	4回	4回
	結果		事業中止		
② 講演会等の参加人数（人/年）	目標	530人	530人	530人	530人
	結果		事業中止		
③ 講演会等のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合（%）	目標	95%	95%	95%	95%
	結果		事業中止		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>人権問題に関する講演会等については、区民企画講座(令和2年9月19日、10月3日)、人権のつどい(令和2年12月7日)、人権講座(令和3年2月頃)を企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い全て中止とした。</p>	<p>本事業に関しては、左記の通り、すべて中止したため、達成できなかった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、開催を判断する。令和3年度も人権問題に関する講演会として「区民企画講座」「人権のつどい」「人権講座」を実施する予定である。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 多様な人々に対する理解の醸成

個別事業名： 人権ポスターコンクールの実施（総務課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 様々な人権問題に対する理解を深める。また、企業関係者等への啓発を促進し、人権問題の解決を目指す。					
【事業概要】 区立小・中学校に在籍している児童・生徒を対象とした「人権ポスターコンクール」を実施する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
人権ポスターコンクールの応募点数 (点/年)	目標 結果	700点	700点 ----- 事業中止	700点	700点

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
人権ポスターコンクールについても新型コロナウイルスの感染拡大による小・中学校の臨時休校等の影響により中止した。	本事業に関しては、左記の通り、すべて中止したため、達成できなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
「人権ポスターコンクール」については教育委員会と調整をしながら令和3年度は実施する予定である。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々に対する理解の醸成

個人事業名：国際交流イベントの開催（地域調整課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】</p> <p>外国人と日本人が共に地域の担い手として暮らし、文化の違いを認め合う共生社会を目指し、外国料理や民芸雑貨、歌や踊りを通じて異文化に触れ、交流を深めるイベントを行う。</p> <p>【事業概要】</p> <p>外国の文化に親しみ、多言語による防災啓発等を行う国際交流イベントを開催する。</p>					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① 国際交流イベントの来場者数(人/年)	目標	12000人	12000人	12000人	12000人
	結果		事業中止		
② 国際交流イベントで紹介された国の数(国と地域)	目標	20の国と地域	20の国と地域	20の国と地域	20人の国と地域
	結果		事業中止		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>例年11月3日(文化の日)に、「あだち国際まつり」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は実施できなかった。</p>	<p>あだち国際まつりを開催できなかったため、年次計画を達成することができなかった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大に歯止めがかからない状況において、国際交流イベントの実施ができるかどうかは未定であり、今後の状況を注視しながら開催を可否を決定する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々に対する理解の醸成

個人事業名：性の多様性への理解が進む啓発講座等の実施 (多様性社会推進課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
(目的) LGBTをはじめとする性的指向や性自認に関して、悩みや困難を抱える人たちへの理解が進展する社会を醸成する。				
【事業概要】 区民を対象に、LGBTをはじめとする性的指向や性自認に関して、悩みや困難を抱える人たちへの理解が進展する啓発講座を行う。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 性の多様性への理解が進む啓発講座の開催回数	2回/年	2回/年 ----- 2回/年	2回/年	2回/年
② 性の多様性への理解が進む啓発講座の参加人数	40人/年	40人/年 ----- 47人/年	40人/年	40人/年
③ 性の多様性への理解が進む啓発講座のアンケートにおいて「理解が深まった」と回答した参加者の割合(※2020年度満足度)	80%	80% ----- 87% ※	80%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
ア ① 開催回数 2回 ② 参加人数 47人 ③ 87% 【①②③ 100%達成】 イ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、出前講座の申請がなかった。	ア 回数・参加人数・満足度、いずれも計画を上回る結果となった。 イ 講義形式の中では、参加者同士でケースワークを行ったことにより、区民の性の多様性に対する理解がより深まった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>性の多様性についての十分な理解は未だ区民に広まっているものではないため、引き続き性的指向や性自認に関する基礎知識および理解するための啓発を行うとともに、区民や区内事業者に対して丁寧に説明を行っていくことで性の多様性への理解を深め、互いに認め合うことのできる社会醸成を図っていく。</p> <p>同時に区職員への意識づけとして接客時における対応例などについて学ぶ研修を実施し、実践に結び付けていく。</p>	

施策の評価

施策名：多様な人々に対する理解の醸成

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

LGBTの方についての啓発や配慮が事業化されている。Trance-Sextial[※]ではなくトランスジェンダリズム[※]の話であるが、ある意味で過度な「配慮」によって、女性の抑圧につながってしまうのではないかと懸念されている。

誰かの「バリア」の解消によって、ほかの方たちのバリアが生まれるということが、まさに今ぶつかっているようなところだと、各種報道がなされている。もちろんそれぞれ個別の施策に取り組んでいただくのは必要ですが、それらのバランスをどうとるかというところで、この様々なニーズ、事情を持つ人々の人権に関する理解の醸成のコントロール役というか、行政が果たすべき一番大事なところでもある。今後とも連携が図られていくことを期待している。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況だからこそ出てきてしまった「差別」もあった。まさに昨年度における重大な人権問題であった。「計画どおりに進行」というだけではなく、目の前で起きている人権問題について何を考えたのかという対応とその成果が出てきてこそ「事業」ではないかを感じる。「計画どおりにやる」とは目的ではない。人権問題の解決をすることが目的である。これらについて何もコメントがなく、今日も聞かれなかったのは残念。

「できない」ではなく、こうした状況の中でも何ができたのかということをもとめ、発言していただきたい。


※Trance-Sextial（トランスセクシュアル）

「身体の性と心の性が異なるため、外科的手術によって一致させることを望む人や考え方のこと」を言います

※トランスジェンダリズム

「性別の自己決定権と多様な性を肯定した考え方」を言います。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>新型コロナウイルス感染症が拡大している影響下で、できなくなってしまった計画もあることはやむを得ません。その中で、何ならできるか、あるいは、どのようにであればできるかという発想で、対応されたいと思います。またこの一年では、世界的な動きとして、一部のトランスジェンダリズム[※]における女性の権利のある面での対立も指摘されています。ユニバーサルデザインの観点では、各人の人権のぶつかり合いが生じないように調整することが、重要になります。新型コロナウイルス感染症が拡大している中では、医療従事者や感染者への差別も社会問題となりました。事前に掲げる内容だけでなく、その時に必要な対応を期待します。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 3点</p>

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 だれもが多様性を理解し配慮する

施策 1-(1)-③

ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

施策の個別事業

- 1 人権問題への理解を深める職員研修事業の実施（人材育成課）・・・P26
- 2 「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施（総務課）・・・P27
- 3 「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施（総務課）
・・・P29
- 4 “伝わる” 広報物を制作するための職場研修等の実施
（シティプロモーション課）・・・P30
- 4 ホームページ・SNSを利用した情報発信力強化（地域調整課）・・・P32
- 5 ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施（ユニバーサルデザイン担当課）・・・P34

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P35

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

**個別事業名： 人権問題への理解を深める職員研修事業の実施
(人材育成課)**

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 高齢者、障がい者や外国籍の方など、自分とは違う立場の方を理解し、サポートするためのマインドやスキルを身に付けた職員を育成する。				
【事業概要】 自分とは違う立場の方を理解し、サポートするための集合研修及び職場研修支援を行う。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 職員研修等の開催回数 (回/年)	2回/年	2回/年 事業中止	3回/年	3回/年
② 職員研修等の参加人数 (人/年)	30人/年	30人/年 事業中止	45人/年	45人/年
③ 研修会等のアンケートにおいて「効果が得られた」と回答した参加者の割合 (%)	80%	80% 事業中止	80%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
令和2年度は事業中止 【元年度参考】 研修名「ユニバーサルスタイル」 対象者 入区2～3年目職員(セレクト研修) 開催回数 2回 参加人数 30人 「研修目的に対する効果が得られた」と回答した参加者の割合 100%	令和2年度は事業中止 【元年度参考】 研修の中で講義と共に実習として「白内障の体験」、「車イスの体験と誘導」、「視覚障がい者の体験と誘導」を実施し、職員としての役割を認識し、お客様の状況の理解とサポートするためのスキルを学ぶ、事業の効果は大きい。 実施後アンケートから、「選挙会場でも必要な知識であり直ぐ活用できる」、「研修資料を係内で周知する」などの意見が寄せられ効果的な内容であったと言える。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和3年度は、新型コロナ感染症拡大防止に十分な注意を払いながら実施する。 高齢者、障がい者や外国籍の方など、自分とは違う立場の方を理解し、サポートするためのマインドやスキルを身に付けた職員を育成することは、重要であり今後も継続していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

個別事業名：「カラーユニバーサルデザイン研修」の実施(総務課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 ユニバーサルデザインに配慮できる職員を育成する。				
【事業概要】				
① 印刷物等の配色チェックを行えるCUD検証員を育成するために外部講師による実技研修を実施する。				
② 他研修でもユニバーサルデザインの考え方を周知し、職員の意識啓発を図る。				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
① CUD検証員研修の開催回数 (回/年)	1 回/年	1 回/年 事業中止	1 回/年	1 回/年
① CUD検証員研修の参加人数 (人/年)	30 人/年	30 人/年 事業中止	30 人/年	30 人/年
① CUD検証員研修のアンケートで 「配色について理解し、仕事に活用 できる」と回答した参加者の割合 (%)	80%	80% 事業中止	80%	80%
② 他のUD研修の開催回数 (回/年)	2 回/年	2 回/年 事業中止	2 回/年	2 回/年
② 他のUD研修の参加人数 (人/年)	70 人/年	70 人/年 事業中止	70 人/年	70 人/年
② 他のUD研修のアンケートで 「UDの考え方について理解した」と 回答した参加者の割合(%)	80%	80% 事業中止	80%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果		その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)	
実績・UDとして実施したこと		効果・UDの視点で達成できたこと	
令和2年9月23日開催予定 カラーユニバーサルデザイン研修 ※①②の研修とも新型コロナウイルス感染症の影響で中止		本事業に関しては、研修の中止により、達成できなかった。	
実績・効果に対する今後の課題・方針			
令和3年度もコロナ渦の影響で実施できるか不明だが、CUD検証員育成研修については、令和3年9月13日に外部講師による実技研修を予定している。			

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

個別事業名：「性の多様性」が認められる職場環境構築に向けた管理職研修の実施（総務課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 性の多様性に配慮しながら職務を遂行できる職員を育成する。				
【事業概要】 性の多様性に関する研修等を実施する。				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
① 職員研修等の開催回数（回/年）	1 回/年	1 回/年 事業中止	1 回/年	1 回/年
③ 職員研修等の参加人数（人/年）	30 人/年	15 人/年 事業中止	15 人/年	15 人/年
④ 研修会等のアンケートにおいて「効果が得られた」と回答した参加者の割合（%）	85%	85% 事業中止	85%	85%

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
新型コロナウイルス感染症の影響で中止	本事業に関しては、研修の中止により、達成できなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和3年度もコロナ渦の影響で実施できるか不明だが、「性の多様性」の管理職研修については、研修を予定している。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

個別事業名：“伝わる”広報物を制作するための職場研修等の実施
(シティプロモーション課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成できる職員を育成する。					
【事業概要】 印刷物の作成に関する研修を実施する。また、印刷物の作成に関する相談・アドバイスを実施する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① 職員研修等の開催回数（回/年）	目標	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年
	結果		4回/年		
② 職員研修等の参加人数（人/年）	目標	70人/年	134人/年	70人/年	70人/年
③ 研修会等のアンケートにおいて「意識が変わった」と回答した参加者の割合（%）	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		95.4%		
④ 相談・アドバイスに対応した割合（%）	目標	100%	100%	100%	100%
	結果		100%		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>チラシづくり研修、カメラ研修、さらには新たに担当業務の「目的」を認識してもらい職場研修等をスタートするなど、研修や相談を通じて“伝わる”広報物の制作や情報発信のスキルアップを図った。</p> <p>デザイン(チラシづくり)研修 : 2回(31人) カメラ研修 : 1回(15人) アイデアを生み出す「成功チャート」の作り方研修 : 1回(88人) →総受講人数:134人 「意識が変わった」と回答した割合:95.4%</p> <p>各所管課がポスターやチラシ等を作成する際のデザインやキャッチコピー等の作成を支援した(325件 100%対応)</p>	<p>情報整理ができたうえで相談にくる職員が増えつつあり、完成度や相談内容のレベルから、広報物制作に関する職員の意識技術力、発想力は庁内に定着しつつある。</p> <p>チラシ、ポスター制作だけにとどまらず、ホームページやSNS作成など、様々な媒体を活用した“伝わる”情報発信が庁内で広がりにつつある。</p> <p>新たな研修を実施したことで、担当業務の「目的」を認識してもらい、情報発信において何を優先的に伝えるべきかの意識付けができた。</p> <p>常駐デザイナーがいることで迅速かつ高度なアドバイスが可能となり、目標の件数に達した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>引き続き、デザイン作成支援や研修の中で「わかりやすい」「伝わりやすい」情報発信の支援を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

個別事業名： ホームページ・SNS を利用した情報発信力強化
(報道広報課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもがわかりやすいホームページの作成及びSNS発信を行える職員を育成する。					
【事業概要】 ウェブ特有の「読みやすい・伝わりやすい文章」の書き方についての研修を行う。					
取組みに対する指標	計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
② 職員研修等の開催回数 (回/年)	目標	1 回/年	1 回/年	1 回/年	1 回/年
	結果		2 回/年		
④ 職員研修等の参加人数 (人/年)	目標	150 人/年	150 人/年	150 人/年	150 人/年
	結果		158 人/年		
⑤ 研修会等のアンケートにおいて「仕事において活用できる」と回答した参加者の割合 (%)	目標	100%	100%	100%	100%
	結果		90%		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>・ 職員向け情報発信力強化研修を実施 報道広報課、シティプロモーション課で個別に実施している研修を、各課の広報担当者向けに合同で実施。</p> <p>第1回 主催 シティプロモーション課 担当業務の目的を認識して戦略を考え、事業効果をあげるためのロジックを学ぶ講演とワークショップ</p> <p>第2回 主催 報道広報課 外部講師：広告代理店講師 第一回で作成したチャートを題材にインパクトのある魅力的なSNS記事作成の手法を学ぶ内容とした。</p> <p>・ SNSレポートの公表 反響が多かった記事トップ 5 および、各課で投稿した記事のアクセスデータを掲示板に毎月掲載。どのような記事に反応があるのかコツやポイントを成功事例としてレポート。</p>	<p>・ コロナ禍で参加人数を制限して開催した2回制の研修</p> <p>第1回研修 87名 参加 第2回研修 71名 参加 職務に活用できる内容であったと回答した割合は90%であった。</p> <p>SNS の全庁利用が浸透してきており、昨年度と比べて投稿数が増加。投稿記事の品質も向上しており、フォロワー数やいいね数(反響数)が増加している。</p> <p>[Twitter] フォロワー数 5,562 人増、投稿数 78 件増、いいね数 36,057 増 [Facebook] フォロワー数 762 人増、投稿数 96 件増、いいね数 10,747 増 [LINE] 友だち登録数 19,644 人(R3.3 末)</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分な注意を払いながら実施する。 高齢者、障がい者や外国籍の方など、自分とは違う立場の方を理解し、サポートするためのマインドやスキルを身に付けた職員を育成することは、重要であり今後も継続していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

個別事業名： ユニバーサルデザイン庁内推進委員会の実施
(ユニバーサルデザイン担当課)

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 職員がユニバーサルデザインの理念を理解し、区民に対しこころづかいができる職員を育成する。					
【事業概要】 各部・局・室から推薦された1名で構成するユニバーサルデザイン庁内推進委員を対象に、「ユニバーサルデザイン庁内推進委員会」を開催する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① 職員研修等の開催回数(回/年)	目標	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年
	結果		4回/年		
⑥ 研修会等のアンケートにおいて「今後の業務で活かしていく」と回答した参加者の割合(%)	目標	80%	80%	80%	80%
	結果		80%以上		

● **自己評価結果と実施状況等**


自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>ユニバーサルデザイン庁内推進委員会(委員19名)を4回実施した(ガイダンス、各種疑似体験、障がい者との意見交換、庁内の課題解決の検討)。</p> <p>体験方法の追加や、委員のアンケート結果をもとに、実施内容を再検討するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の庁内推進委員会(第1回及び第4回)を書面開催にて行った。</p>	<p>疑似体験や障がい者との意見交換などを通じ、ユニバーサルデザインの視点で庁内の課題を確認した。</p> <p>庁内外におけるユニバーサルデザイン等を用いて実施される様々好事例について提案いただき、様々な好事例を収集することができた。</p> <p>体験した際に得た経験や新たな視点により、委員の意識の変化につながった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の状況において、通常の方法で開催できない場合の対応方法について、試行錯誤を繰り返しながら、庁内推進委員の各所属での業務に支障をきたさない委員会の運営方法(書面開催や連絡のデジタル化)の方向性を定めることができた。</p> <p>東京2020オリンピックパラリンピック開幕を控え、庁内推進委員がユニバーサルデザインについて、より深く考えるきっかけとなるよう働きかけをしていきたい。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：ユニバーサルデザインを業務に活かせる職員の育成

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>継続した取り組みが重要。 集合研修だけでなく、OJTや職場でのリーダー養成に取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

施策 1-(2)-①

児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進

施策の個別事業

- 1 パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施・・・・・・・・・・
(経営戦略推進担当課)・・・・・・・・・・P37
- 2 ユニバーサルデザイン出張講座の実施 (ユニバーサルデザイン担当課)・・・・・・・・P39

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P41

施策： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進

個別事業名： パラリンピアンによる講演会・障がい者スポーツ体験会の実施（経営戦略推進担当課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 パラリンピアンによる講演会や体験会、都立特別支援学校との交流等を通じ、障がい者の理解を進めるとともに、子どもたちの自己肯定感を向上する。				
【事業概要】 オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)と連携し、花畑地域の小・中学校と都立特別支援学校において、オランダのパラリンピアンや障がい者スポーツ指導者の講演会、体験会等を実施する。 ※2021年で連携事業終了。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 講演会・体験会等の開催回数 (回/年)	10回/年	11回/年 事業中止	—	—
② 講演会等のアンケートにおいて 「障がい者とスポーツを楽しみたい」と回答した参加者の割合(%)	90%	90% 事業中止	—	—

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>新型コロナウイルス感染症のため予定していたオランダアスリートとの交流は全て中止</p> <p>■花畑地域の小学校5校、中学校3校、特別支援学校2校のオランダ交流</p> <p>①オランダから届いた応援のビデオレターに対し、小中学校、特別支援学校でこれまで来日した選手等へ向けたビデオメッセージを作成。オランダへ送付</p> <p>②小学校、特別支援学校で選手等に向けたオランダ国旗への寄せ書きを作成。オランダ大使館を通じてオランダの選手に寄贈</p> <p>③小中学校、特別支援学校でオランダを代表するチューリップの植付、育成を実施</p>	<p>オランダアスリートとの直接の交流は中止となったが、新型コロナウイルス感染症のなか新たな交流の形としてこれまで交流のあった児童・生徒が動画を活用して交流することで、オランダとの関係を継続することができた。</p> <p>また、NOC * NSFとは定期的にオンライン会議を実施。障がい者のスポーツ普及に向けた取り組みについて意見交換を実施した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC * NSF)との連携協定を2021年まで延長。</p> <p>東京2020大会開催前にオランダアスリートと花畑地域中学校のオンライン交流を実施。</p> <p>東京2020大会終了後の2021年10月～12月、2022年1月～3月にオランダパラアスリートの来日を予定。花畑地域の小学校5校、中学校3校、特別支援学校2校の交流事業を実施する。また、新型コロナウイルス感染症の状況に応じてオンライン交流など検討する。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進

個別事業名： ユニバーサルデザイン出張講座の実施
 (ユニバーサルデザイン担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 子どものころからユニバーサルデザインの理解を深める。				
【事業概要】 区立小学校の児童を対象に、ユニバーサルデザインに関する出張講座を実施する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 出張講座の実施校数 (回/年)	目標	17校/年	19校/年	21校/年
	結果	10校/年		
② 出張講座のアンケートにおいて「心づかいをしていきたい」と回答した児童・生徒の割合(%)	目標	90%	90%	90%
	結果	90%		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>実施校数 15校</p> <p>アンケートにおいて「こころづかいをしていきたい」と回答した児童・生徒の割合約 80.0%</p> <p>小学校15校で、4年生から5年生の合計37クラスの児童に対して、「みんなでつくろう！ユニバーサルデザインのまち」の出張講座を行った。</p> <p>昨年度、講義やワークシートだけではなく、障がい者体験等の体験型を望む声があった。出張講座の紹介する通知に、足立区社会福祉協議会が障がい者体験の授業を有償で実施している旨の情報提供も行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した授業の方法を各小学校へ提示し、各学期の学習計画を策定する時期(各長期休み前)に案内を送付した結果、多くの学校から確認の依頼があった。</p>	<p>児童約1200名に対して、ユニバーサルデザインのまちづくりに必要な心づかいの重要性を周知することができた。</p> <p>学校公開での依頼もあり、保護者の方にも周知し、理解を得ることができた。</p> <p>実施の学校数は、コロナ禍の状況にありながら、目標値に到達した。</p> <p>区内小学校でも校外学習ができない状況の中、こうした区役所での取り組みが改めて評価されてきたことが明らかになった。</p> <p>各学校のアンケートでも好評であった。毎年度出張講座を依頼する小学校から口コミで他の学校にも広がり、実施校数が今年度は増えた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、動画による配信等の講座の実施方法についての検討したが、小学校の状況や学校の判断により出張講座を実施できることが明らかになったため、区教育委員会と調整しながら、対面授業を実施した。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、新たな方法等の検討を進めていく。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 児童・生徒へのユニバーサルデザイン教育の推進


●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

大変なときに、状況に応じてどんどんいろいろなことを変えながら取り組まれ、しかもこのように美しくレイアウトもされている。実施されたことも、メッセージ性としてとても価値があることであり、すばらしいというメッセージを伝えたいと思う。

子どもたちにとっても、「難しい中でもできることをやる」、「ICTの技術が世界をつないでいく」、「困難を乗り越えることにつながっていく」、という非常に強いメッセージ性を持った取り組みとなり、そしてその成果であったと感じる。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>COVID-19 の影響下でも、オンラインやデジタルの技術を使って計画内容を変更しながら実施されています。困難の中でもできることを行うこと、また、その際に ICT を用いることでそれらが可能となることが児童らに示すことができたことは大変意味深いです。スポーツコンシェルジュ、コートというソフトとハードの整備も、今後につながるもので、高く評価できます。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

施策 1-(2)-②

児童・生徒への国際理解教育の推進

施策の個別事業

- 1 区立小中学校での国際理解教育の実施（地域調整課）・・・・・・・・・・ P43

施策の評価

- ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P44

施策： 児童・生徒への国際理解教育の推進

個別事業名： 区立小中学校での国際理解教育の実施 (地域調整課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】</p> <p>異文化理解を促進し、国籍や民族の文化的な違いを認め合い、尊重する多文化共生社会を支える基盤づくりへつなげる。</p> <p>【事業概要】</p> <p>区立小・中学校へ文化交流ボランティア及びJICA(国際協力機構)・JOCA(青年海外協力協会)による臨時講師を派遣し、外国の文化や国際貢献活動を紹介する。</p>					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	取組みに対する指標				
①	臨時講師による講座の実施数 (回/年)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">目標</div> 40 講座/年 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">結果</div> 40 講座/年 ----- 事業中止 </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">目標</div> 40 講座/年 </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">結果</div> 30 講座/年 ----- 事業中止 </div>	30 講座/年	30 講座/年
①	出張講座のアンケートにおいて 「心づかいをしていきたい」と回答した 児童・生徒の割合(%)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">目標</div> 70% </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">結果</div> 75% ----- 事業中止 </div>	75%	75%	75%

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
例年は6月頃から区立小・中学校へ臨時講師を派遣し、国際理解教育を行っているが、感染症拡大防止のため、令和2年度は実施できなかった。	「国際理解教育」の授業を実施できなかったため、年次計画を達成することができなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
新型コロナウイルス感染症拡大に歯止めがかからない状況において、「国際理解教育」の授業を実施できるか不確定であるが、今後の社会情勢を注視しながら、新たな生活様式に配慮した講師派遣を検討していく。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 児童・生徒への国際理解教育の推進

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

外国籍の方がご自宅等ではオンラインに対応できない場合でも、区において大画面モニターを通じて小学生たちと交流はできるのではないかと。何か考えて、やろうとしている取組か、という所管のお話が聞きたい。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
できること、できる方法を探す・検討する、アイデアを集める、という姿勢を期待します。	★★★★☆  5段階評価の 2点

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 幼少期からユニバーサルデザインの理念に触れる

施策 1-(2)-③

学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備（教育指導課）・・・・・・・・・・ P46
- 2 区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施・・・・・・・・・・
（教育指導課）・・・・・・・・・・ P47
- 3 区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導・・・・・・・・・・
（教育指導課）・・・・・・・・・・ P48
- 4 特別支援教育におけるICT活用について（支援管理課）・・・・・・・・・・ P49

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P51

施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

**個別事業名： 「足立スタンダード」に基づく学習環境の整備
(教育指導課)**

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。				
【事業概要】 区立小・中学校の教員を対象に、「足立スタンダード(※)」に基づき、研修を実施する。 ※足立スタンダード:「めあてを明確にし、考えて、伝え合い、まとめて、書く授業」を基本とし、プリントやドリルを繰り返し行うだけの授業ではなく、課題を解決する学習過程、ノートづくり及び板書計画を重視した授業。				
計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取り組みに対する指標				
① 足立スタンダード研修の開催回数 (回/年)	20 回/年	20 回/年 ----- 20 回/年	20 回/年	20 回/年
② 足立スタンダード研修の参加人数 (人/年)	300 人/年	300 人/年 ----- 300 人/年	300 人/年	300 人/年
② 研修のアンケートで「足立スタンダードに基づいた授業づくりへの意識が高まった」と回答した参加者の割合(%)	90%	90% ----- 90%以上	90%	90%

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区内小・中学校の4年次教員研修において、「足立スタンダード」についての講義を行い、「足立スタンダード」に基づいた授業を校内で公開するようにした。	区内小・中学校の4年次教員に対し、研修で理解を深めた成果として、足立スタンダードに基づいた授業公開を校内で行い、若手教員育成の機会とした。また、足立スタンダード事例集において、全教科ICTの活用について取り上げ、誰にでも分かりやすい授業の実践例として紹介することができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
学校のユニバーサルデザイン化を推進するため、授業におけるICTの効果的な活用を周知し、授業で実践できるようにしていく	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 区立小・中学校の教員を対象にした人権等に関する研修会の実施（教育指導課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。				
【事業概要】 区立小・中学校の教員を対象に、人権等に関する研修会を実施する。				
計画年度 取組みに対する指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
① 人権等に関する研修の開催回数 (回/年)	3回/年	3回/年 ----- 3回/年	3回/年	3回/年
② 人権等に関する研修の参加人数 (人/年)	312人/年	312人/年 ----- 312人/年	312人/年	312人/年
③ 研修アンケートにおいて「学校での実践に活用できる」と回答した参加者の割合(%)	85%	85% ----- 85%以上	85%	85%

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区立小・中学校の教員を対象に、人権等に関する研修会を実施した。	『足立区LGBTガイドライン』を基に、多様性について教員に理解を図るとともに、学校での対応について共通理解できるようにした。

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 区立小・中学校への指導主事による学習環境の点検・指導（教育指導課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 ユニバーサルデザインを身近に感じられるような学習環境を整える。					
【事業概要】 だれにでも使いやすく、授業に集中しやすい教室等の環境が整備されているか、区立小・中学校へ指導主事が訪問し、点検・指導を行う。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
指導主事による点検校数	目標 結果	104校/年	104校/年 ----- 104校/年	104校/年	104校/年

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
誰にでも使いやすく、授業に集中しやすい教室等の環境が整備されているか、区立小・中学校へ指導主事が訪問し、点検・指導を行った。	指導主事による全小学校の学校訪問をとおして、各校の教室環境や学習環境の整備状況の把握を行うとともに、改善が必要な学校に対して指導・助言を行った。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
学校のユニバーサルデザイン化を推進するため、授業におけるICTの効果的な活用を周知し、授業で実践できるようにしていく	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

個人事業名： 特別支援教育における ICT 活用について
(支援管理課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】</p> <p>特別支援学級におけるユニバーサルデザインの視点を取り入れ、障がいのある児童・生徒の個に応じた分かりやすい授業づくりを推進し、学習意欲や集中力及び自己肯定感の向上を目指す。</p> <p>【事業概要】</p> <p>① 区主催による「学校教育におけるユニバーサルデザイン」研修で、ICT関連機器の活用について取り扱うとともに、研修受講を特別支援学級の教員に促していく。</p> <p>② 教員用タブレット端末や大型提示装置を使用して、写真や文字の視覚提示等による分かりやすい授業を実施する。</p>				
計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取組みに対する指標				
① UDに関する研修の累計人員(人)	目標	累計 58 人	累計 87 人	累計 116 人
	結果	累計 29 人	累計 81 人	
② UD研修「自己の資質向上に役立った」と回答した割合(%)	目標	50%	80%	40%
	結果	25%	100%	(週2回以上)
③ 週1回以上タブレットを使用した特別支援学級教員の割合(%)	目標	50%	80%	40%
	結果	25%	90%	(週2回以上)

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>① 区主催による小中管理職対象研修 令和2年9月8日動画配信による実施 81名が資料アンケートに回答</p> <p>② 区主催による教員対象研修 令和2年8月26日講義形式による実施 76名参加</p> <p>③ タブレット端末や大型提示装置を使用した分かりやすい授業を実施入地区の選定作業が1年先送りとなった。</p>	<p>① 研修アンケート「研修の内容は、学校経営に活用できるものであった」と答えた管理職の割合 100%</p> <p>② 研修アンケート「自己の資質向上に役立った」と答えた教員の割合 100%</p> <p>③ タブレット端末や大型提示装置等を使用し UDの視点から視覚化等を行った実践事例数20例を収集</p> <p>③ 週1回以上タブレット等を使用した特別支援学級教員の割合90%</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>特別支援教育ガイドラインを作成して、ICT 活用状況の充実を図る。</p> <p>実践事例を蓄積及び発信することを通して使用頻度の向上を図る。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 学習環境におけるユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見


【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

非常によい方向だと思いますが、これでどういう効果ができてきたかというところの効果測定について、ぜひ次年度の評価部会で話を聞きたい。

初心者の方が見たときに分かりやすい、ベテランの方の考え方の特性として、そういった初心者の方へのフレンドリーな部分というのが作られていくといいのかもしれない。

この研修に「来られていない人」たちに対する指導や情報共有だとか、初心者の方を中心にしたアクセシビリティの検証はしていただきたい。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>児童の誰もがより効果が高く学べ、安心してすごせる学習環境をつくろうとしている取り組みの効果が理解できます。ICTの導入で、教員・児童・保護者の負担感や意欲、学習成績がどのように向上したかのレポートを期待しています。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 思いやりある『ひとづくり』

施策群 だれもが互いにつながり支え合える

施策 1-(3)-①

多様な人々との連携・支援

施策の個別事業

- 1 日本語ボランティア教室の支援（地域調整課）・・・・・・・・・・ P53
- 2 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施（スポーツ振興課）・・・・・・ P54
- 3 高齢者が地域とつながりを保ち続ける社会づくりの担い手を養成
（地域包括ケア推進課）・・・・・・・・・・ P56
- 4 認知症カフェの実施（地域包括ケア推進課）・・・・・・・・・・ P57
- 5 障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣（障がい福祉課）・・・・・・ P58

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P59

施策：多様な人々との連携・支援

個別事業名：日本語ボランティア教室の支援（地域調整課）

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 外国出身の区民が安心して生活するための基本的な日本語習得を支援する。				
【事業概要】 ① 日本語や日本の生活や習慣を教える日本語ボランティア教室を運営する団体を支援する。 ② 日本語ボランティアのグループや所属しているボランティアの能力向上を支援する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 講座や教室の実施回数 (回/年)	目標 8回/年 結果	8回/年 ----- 8回/年	8回/年	8回/年
② 講座や教室の受講人数 (人/年)	目標 30人/年 結果	30人/年 ----- 17人/年	30人/年	30人/年

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
日本語ボランティア養成講座 (令和2年12月～令和3年2月まで) 8回実施 受講人数17名	受講後のアンケート結果から、相手の立場・視点で接することの大切さを学び、今後の活動に向け勉強していきたいという意欲的な意見が多く、学習者の理解促進・意識向上につながったと考える。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の恐れから、申込者数の減少や申込後の辞退があり、目標の受講人数には届かなかった。 令和3年度は社会情勢を注視しながら、新しい生活様式に配慮し、講座開催を目指していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々との連携・支援

**個別事業名：初級障がい者スポーツ指導員養成講習会の実施
(スポーツ振興課)**

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむ社会の実現に向けて、障がい者のスポーツへの取り組みを支える人材を育成する。</p> <p>【事業概要】 障がいごとに必要な配慮や、障がい者を取り巻くスポーツ環境など、障がい者がスポーツに取り組むことをサポートするうえで基礎的な知識を習得することができるよう、「初級障がい者スポーツ指導員(日本障がい者スポーツ協会公認資格)の養成講習会」を実施する。</p>				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
① スポーツ指導員の養成講習回数 (回/年)	1 回/年	1 回/年 ----- 1 回/年	1 回/年	1 回/年
② スポーツ指導員の修了者数 (回/年)	累計 95 人	累計 115 人 ----- 累計 129 人	累計 135 人	累計 155 人
③ 研修アンケートにおいて「障がい者 スポーツを支える活動に関わりた い」と回答した参加者の割合(%)	80%	80% ----- 80%	80%	80%

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、実施時期は9月から11・12月にずれ込んだが、感染症対策をとりながら講習会を開催することができた。</p> <p>今年度は26人の受講者が講習会を修了し、累計の修了者数は129人となった。</p> <p>修了者に行ったアンケートにて、95%が「今後障がい者スポーツを支える活動に携わりたい」と回答した。</p>	<p>誰もがスポーツを楽しむ社会の実現に向けて、障がい者スポーツを支える人材を支える人材を育成することができた。</p> <p>講習会では座学のほか、競技用車いすの体験や障がい者とのスポーツ交流などの実技形式の講習を行うことで、受講者が実際の指導について、より具体的なイメージを持てるよう工夫した。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今年度と同水準の受講生を募ることができるよう、スポーツ関係者のみならず、障がい者支援にかかわる施設など資格取得に意欲的な人材に、直接情報が届く周知を、今後も継続して行っていく。</p> <p>修了者が今後さらに意欲的に障がい者のスポーツ推進を支援していけるよう、資格取得後の区イベントや事業への協力を依頼する等、取得した知識を地域において実践できる場の検討を進めていく。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々との連携・支援

個別事業名： 高齢者が地域とのつながりを保ち続ける社会づくりの担い手を養成（地域包括ケア推進課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。					
【事業概要】 住民主体の活動を支援する生活支援コーディネーターを配置する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	取組みに対する指標				
① コーディネーターの配置人数 (回/年)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">目標</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">結果</div> </div>	5人/年	30人/年 ----- 目標以下	30人/年	30人/年

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
本来であれば、介護予防に資する運動を行う住民主体のグループを育成する計画であった。しかし、コロナ禍により思うように育成ができなかったため、当面の間方針を転換し、「一人でも 自宅でも」地域とのつながりを維持できるよう支援を行った。	電話による安否確認の実施や、既存イベントのオンライン開催化を支援するなど、コロナ禍でも人とのつながりを維持できる取組みを進めた。その結果、従来よりもサロンと地域包括支援センターがより緊密に連携を取れるようになった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
新しい生活様式の中でも、高齢者が地域とつながりを保ち続けられるために、ニーズに合ったサービスを模索していく必要がある。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々との連携・支援

個別事業名：認知症カフェの実施（地域包括ケア推進課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。					
【事業概要】 認知症カフェを実施する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
認知症カフェの実施回数 (回/年)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">結果</div>	20回/年	20回/年 ----- 目標以下	20回/年	20回/年

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言発令中は実施を中止した。そのため、計画通りに実施できなかった。宣言解除後も、従来の実施方法に加え、密を避け、感染予防のチェックリストを活用し、屋外の公園での実施、往復はがきの利用等つながりを意識した活動を行った。	認知症カフェの3要素のうち「笑顔がはじけるおしゃべり」が、新型コロナウイルス感染症流行下でできなかったが、「認知症のことをまなぶ」「家族・地域とつながる」は創意工夫で実施することができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
引き続き認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う場、身近で気軽に立ち寄りやすい場所での「認知症カフェ」開催を実施していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 多様な人々との連携・支援

個別事業名： 障がい福祉に関連する研修・講演の実施、講師派遣
(障がい福祉課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画															
<p>【目的】 高齢者が安心して過ごせる居場所づくりを進める。</p> <p>【事業概要】 一般区民、ボランティア団体等を対象に、また家族会、事業所、学校等で、障がい福祉に関連する研修・講演を実施または講師として協力する。</p>															
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度										
	取組みに対する指標														
障がい福祉に関連する研修等の実施回数(回/年)	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td>20回/年</td> <td>20回/年</td> <td>20回/年</td> <td>20回/年</td> </tr> <tr> <td>結果</td> <td></td> <td>6回/年</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標	20回/年	20回/年	20回/年	20回/年	結果		6回/年						
目標	20回/年	20回/年	20回/年	20回/年											
結果		6回/年													

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
6回 【内訳】 所管実施 0回 講師派遣 6回	新型コロナウイルス感染症の影響により学習会や研修が開催されず、講師依頼も減ってしまったため、十分な効果を残すことができなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和3年度も同様の傾向が続くと思われるが、感染症対策を適切に実施しながら所管が主催する研修会も実施し、積極的に講師派遣を行いながら、啓発に努めたい。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：多様な人々との連携・支援

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

日本語教室を、今までのような日本語教室という形だけで実施するわけではなく、他の事業との組み合わせであるとか、発展的な方向に進んでほしい。


パラリンピック競技については、広く区民、また小学生等に障がい者スポーツを広めてほしい。

二重、三重のケアをされている。日本語を習得したいという方たちに、直接区が支援をしているということではなく間接的な支援を組み合わせ、住民主体のサポートができるようにということとされている、うまくいっている面もちろんあると思うが、難しいのかなと思うところもあり、一生懸命実施しているのは重々分かる。社会的動向の事情もあって、取り組みのアップデートは前に進んでいない。

区として本気でこういう事業をやるからということやられないと、担当の人だけの中ではできない。援護射撃みたいなものが届いて、サポートになっていけばよい。

残念なのは、地域包括ケア推進課と障がい福祉課が、施策名が1つになっているにも関わらず、まとまっているのに、あまり連携していない。縦割りなのだなと感じた。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>障がい者スポーツ・高齢者の居場所づくりについては、ニーズ、対応、成果がかみ合っているとわかります。これらが別の事業としてでなく、横方向の連携を期待します。外国人、外国ルーツの方への日本語や日本の住環境への融和支援は今後ますます重要となると思われ、日本語教室のあり方、他の事業との組み合わせ等、ご検討ください。</p> <p>障がい福祉の分野の取り組みは、共生ケアの方向性の中で地域包括ケアとの融合がより求められると考えます。今後の相互の進展を期待します。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』

施策群 だれもが安心して生活できる環境を充実させる

施策 2-(1)-①

多様な人々への移動支援

施策の個別事業

- 1 シルバーカー購入費用の一部助成（高齢福祉課）・・・・・・・・・・ P61
- 2 障がい者への様々な移動手段を確保する（障がい福祉課）・・・・・・・・ P62
- 3 施設通所バスの運行（障がい福祉センター）・・・・・・・・・・ P64
- 4 高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供（交通対策課）・・・・ P65

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・ P66

施策：多様な人々への移動支援

個別事業名：シルバーカー購入費用の一部助成（高齢福祉課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 高齢者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。				
【事業概要】 シルバーカーの購入費用を一部助成する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
シルバーカー購入費用助成件数 (件/年)	480件	390件 ----- 333件	390件	390件
	目標			
	結果			

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
実績 333件/年	高齢者が外出時に、安全で円滑な移動手段として、シルバーカーの支給は効果があった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>シルバーカーの支給件数は年々減少傾向である。原因として、介護保険の歩行器レンタルの利用が伸びていることが考えられる。</p> <p>引き続き高齢者の外出時、安全で円滑な移動できるようにサービスを提供する</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 多様な人々への移動支援

**個別事業名： 障がい者への様々な移動手段を確保する
(障がい福祉課)**

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 障がい者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。					
【事業概要】					
① ガイドヘルパーを派遣する。					
② 歩行困難な心身障がい者に福祉タクシー券を交付する。					
③ 障がい者の方が自動車等により外出した場合に、燃料費の一部を助成する。					
④ 身体障がい者が第1種普通自動車運転免許を取得する場合に費用の一部を助成する。					
⑤ 車両の操行装置及び駆動装置の改造に要する費用の一部を助成する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① ガイドヘルパーの派遣人数 (人/年)	目標	10,510人	10,660人	10,810人	10,960人
	結果		8,500人		
② 福祉タクシー券の交付件数	目標	10,200件	10,200件	10,200件	10,200件
	結果		9,431件		
③ 障がい者の方が自動車等により 外出した場合に、燃料費の一部 の助成	目標	2,600件	2,600件	2,600件	2,600件
	結果		2,841件		
④ 第1種普通自動車運転免許取 得費用の一部の助成件数	目標	9件/年	9件/年	9件/年	9件/年
	結果		13件/年		
⑤ 車両の操行装置及び駆動装置 の改造に要する費用の一部の助 成件数	目標	10件/年	10件/年	10件/年	10件/年
	結果		8件/年		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果		計画どおり進行	
実績・UDとして実施したこと		効果・UDの視点で達成できたこと	
① 8,500 人/年		① 新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えた障がい者もあり、実績は目標を下回ったが、一定の社会参加の促進と、生活範囲の拡大に寄与できた。	
② 9,431 件/年		② この事業の利用で外出が容易になり、障がい者（児）の活動の場が広がった。	
③ 2,841 件/年		③ 障がいのある方の旅行等の外出促進、社会参加の促進を助長した。	
④ 13 件/年		④ 第1種普通自動車運転免許を取得する場合に費用の一部を助成した。自動車運転免許取得は、心身障がい者の就労選択範囲の拡大に繋がった。さらに、資格取得は「達成」という自信を植え付けることに寄与した。	
⑤ 8 件/年		⑤ 障がい者が自ら自動車を運転するために必要な改造費を補助することで、障がい者の自立を促進することができた。	
実績・効果に対する今後の課題・方針			
<p>今後も各事業を継続し、障がい者の様々な移動手段を確保することで、障がいの有無にかかわらず、だれもが生活のしづらさを感じずに地域で生活し続けられるよう支援する。</p>			

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々への移動支援

個人事業名：施設通所バスの運行（障がい福祉センター）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 障がい者が円滑に移動できるようにサービスを提供する。					
【事業概要】 施設への自主通所が困難な障がい者に対し、通所するための移動手段を確保するため、通所バス（※）を運行し、当該施設への円滑な利用を図る。 ※ 毎年度、利用希望者は、利用開始前に登録書を提出した上で乗車している。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
施設通所バスの登録者数(人/年)	目標	642人	654人	660人	666人
	結果		700人		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
利用者数 780人/日 運行台数 39台/日 運行日数 240日/年	通所バスを運行することで、自力での移動が困難な障がい者の社会参加を促進し、生活の幅を広げることができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
引き続き事業を継続し、障がい者の社会参加の促進を図る。 令和3年度に開設した花畑あかしあ園の通所バスの運行状況を確認していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：多様な人々への移動支援

個人事業名：高齢者等が円滑に移動できるための交通手段の提供
(交通対策課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 高齢者等が円滑に移動できるための交通手段を提供する。				
【事業概要】 ① 地域やバス事業者と交通不便地域へのバス路線の導入を行う。 ② 地域やバス事業者と交通不便地域への乗合タクシー等バス以外の交通手段の導入を行う。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① バス路線の導入検討の進捗状況	目標 運行計画 (検討)	(作成)	検証運行	運行後の検証
	結果	実施した		
② バス以外の交通手段を導入検討の進捗状況	目標	導入地区選定	運行計画 (検討)	(作成)
	結果	実施した		


●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>最初にバス路線導入を検討する地域として花畑周辺地域を選定し、地域、行政、バス事業者等で構成する花畑周辺地域公共交通検討会を立ち上げ、令和元年12月の準備会、令和2年7月の第1回検討会、令和2年10月の第2回検討会において、バス運行計画案の作成にかかる多くの意見収集を行い、運行計画案を確定することができた。</p> <p>バス以外の交通手段導入については、新型コロナウイルス感染症の影響により、導入地区の選定作業が1年先送りとなった。</p>	<p>地域の实情に詳しい町会長や医療・商業・高齢者・学校関連団体の方、バス事業者で構成される検討会において、高齢者等移動の困難な方の意見も反映された運行計画案を策定できた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>検討会で作成された運行計画案をもとに、交通事業者と運行計画を確定させ、令和3年夏頃のバス検証運行開始を目指している。</p> <p>バス以外の交通手段導入については、令和3年度に導入地区の選定を行い、令和4年度に検討を開始する予定である。バス路線導入と合わせて、交通不便地域の解消を図り、多様な人々への移動支援に引き続き努めていく。</p>	

施策の評価

施策名： 多様な人々への移動支援

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>利用者一人ひとりにとっては唯一の移動権を確保する重要インフラである。これらをすべて満足する到達点は高いと思われるが、引き続き充実に努めていただきたい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』

施策群 だれもが安心して生活できる環境を充実させる

施策 2-(1)-②

多様な人々へのコミュニケーション支援

施策の個別事業

- 1 外国人相談の充実（地域調整課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P68
- 2 補聴器の支給や購入の支援・磁気ループの貸し出し（障がい福祉課）・・・・・・ P69

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P71

施策：多様な人々へのコミュニケーションの支援

個別事業名：外国人相談の充実（地域調整課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 日本語による会話等が十分でない区民に対し、区役所の行政手続きについて支援を行う。				
【事業概要】 外国人相談員（英語、中国語、韓国語）や通訳ボランティアによる相談や通訳支援を実施する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
外国人相談の相談件数 (件/年)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 目標 2,595 件 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 結果 2,499 件 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 2,599 件 ----- </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 2,499 件 </div>	2,650 件	2,700 件

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
外国人相談員対応：2,355件 通訳ボランティア対応：144件 合わせて2,499件 対応言語割合：中国語 83%、 英語 10%、韓国語 7%	新型コロナウイルス感染症関連の相談など、社会情勢の影響を受ける各種相談に応じることで、適切な行政手続きの支援を例年以上に行うことができた考える。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
相談件数については昨年度より増加したものの、感染症拡大防止のため4・5月は通訳ボランティア派遣を中止した影響などから、目標値には届かなかった。 国や東京都からの情報など、最新情報を外国語相談員と共有し、外国人区民への相談に適切に応じられるよう努めていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 多様な人々へのコミュニケーションの支援

個別事業名： 補聴器の支給や購入の支援・磁気ループの貸し出し
(障がい福祉課)

●施策に対する事業の概要
施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画
【目的】

障がい者が円滑にコミュニケーションできるようにサービスを提供する。

【事業概要】

① 身体障害者手帳をお持ちの方の就労や日常生活を容易にするため、補装具として補聴器を購入・修理するための費用を支給する。

② 携帯型難聴用磁気ループ(※)の貸出を行う。

※ 磁気ループ:会議や講演会などの場で、難聴者の聞こえを支援する設備。

ループアンテナ内で誘導磁界を発生させることで、音声磁場をつくり、専用の機器や補聴器等に直接音声を届けることができる。

③ 聴覚障がい者が手話通訳や要約筆記者を必要とする場合、手話通訳者または要約筆記者を派遣する。

計画年度 取組みに対する指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	① 補聴器購入・修理のための費用の支給件数(件/年)	600件	600件 ----- 428件	600件
② 磁気ループの貸出件数(件/年)	10件	10件 ----- 3件	10件	10件
② 手話通訳者または要約筆記者を派遣件数(件/年)	2,800件	2,900件 ----- 1,838件	3,000件	3,100件

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 428件 ※4/15集計時点 ② 3件 ③ 1,838件 【内訳】手話通訳者派遣 ・ 足立区社会福祉協議会 1,243件 ・ 東京手話通訳等派遣センター 488件 ・ 要約筆記者派遣 107件	①については聴覚障がい者に必要な補聴器を給付し、使用してもらうことで、就労支援や日常生活の支援につながった。支給件数は年次計画を下回っているが、申請に基づき給付することができた。 ②、③についてはコミュニケーションや情報を得るための支援を行うことにより、聴覚障がい者が安心して社会参加できた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も補聴器を必要とする聴覚障がい者に、適切に給付していく。</p> <p>携帯型ヒアリングループ(難聴用磁気ループ)について、聞こえにくい高齢者への需要の増加が見込まれることから、障がい者だけでなく、高齢者関連施設や団体、高齢者等が目にする媒体への周知を継続的に行い、一層の普及を図る。※計画では、「携帯型難聴用磁気ループ」と記載しているが、令和2年度中に「携帯型ヒアリングループ(難聴用磁気ループ)」に表記を統一している。</p> <p>手話通訳派遣事業の聴覚障がい者への分かりやすい案内について、検討を行っていく。また、令和2年度に開始した障がい福祉課(本庁舎及び各援護係)窓口における、タブレット端末による遠隔手話通訳サービスを活用し、聴覚障がい者のコミュニケーション支援を引き続き推進する。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名: 多様な人々へのコミュニケーション支援

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
ICTの活用に計画的に取り組んで欲しい。	★★★★☆  5段評価の 4点

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』
施策群 だれもが暮らしやすい住宅を確保する

施策 2-(2)-①

住宅の改良支援

施策の個別事業

- 1 高齢者に対する住宅改修費用の助成（高齢福祉課）・・・・・・・・・・ P73
- 2 要支援・要介護認定者の住環境の改善（介護福祉課）・・・・・・・・・・ P74
- 3 高齢者・障がい者向け住宅改良事業への支援を行う（障がい福祉課）・・・・・・・・ P75
- 4 段差解消等の住宅改良助成制度（建築安全課）・・・・・・・・・・ P76

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P77

施策：住宅の改良支援

個別事業名：高齢者に対する住宅改修費用の助成（高齢福祉課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。				
【事業概要】 介護保険で「非該当」と判定された方に、在宅生活が継続できるように便器の洋式化、手すりの設置、段差解消等を行う場合、工事費の一部を助成する。 介護保険で「要支援」または「要介護」と認定された方のうち、介護保険での住宅改修を一定の額以上使用している方に、浴槽の取り替え及び便器の洋式化工事を行う場合、また車いす用の流しまたは洗面台への取り替え工事を行う場合、工事費の一部を助成する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 介護保険非該当の住宅改修助成 件数（件/年）	47件	42件 ----- 59件	42件	42件
② 介護認定で要支援・要介護の設備 改修助成件数（件/年）	100件	92件 ----- 88件	92件	92件

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 59件 8,683千円の助成 ② 88件 13,425千円の助成	コロナ禍で在宅率が高まり住宅改修の助成数が例年より多くなった。 引き続き、高齢者宅の住宅改修を行うことで、安心、安全な在宅生活の継続を支援する。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
本制度の周知をあだち広報や区ホームページ等を活用して行っていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：住宅の改良支援

個別事業名：要支援・要介護認定者の住環境の改善（介護保険課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。					
【事業概要】 介護保険で「要支援」または「要介護」と認定された方に、在宅生活が継続できるように浴槽の取り換え、便器の洋式化、手すりの設置、段差解消等を行う場合、工事費の一部を助成する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
介護認定で要支援・要介護の住宅 改修助成件数(件/年)	目標	2,080件	2,100件	2,120件	2,140件
	結果		1,889件		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
1,889件 164,171千円の助成	住宅改修により、要介護・要支援認定者の生活環境を整えることで、在宅でより安全な生活が継続できるようになった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
介護保険制度の改正に留意しながら取り組む。 今後もあだち広報や区のホームページなどを活用して、事業の周知を徹底していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：住宅の改良支援

個人事業名：高齢者・障がい者向け住宅改良事業への支援を行う
(障がい福祉課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。					
【事業概要】 在宅の重度身体障がい者に対して、居住する自宅家屋の玄関等、住宅設備の改善に要する費用の一部を助成する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
在宅の重度身体障がい者に対する 助成件数(件/年)	目標	30件	30件	30件	30件
	結果		36件		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
36件の助成	住宅設備の改善により、在宅の重度身体障がい者の日常生活の利便性を高めるとともに、自立の促進や介護者の負担軽減につながっている。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
計画的に実施するものではなく、住宅設備の改善に必要な生じた在宅重度身体障がい者の生活を支援する制度であり、引き続き申請に基づき、必要な住宅改修を適宜実施していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：住宅の改良支援

個人事業名： 段差解消等の住宅改良助成制度（建築安全課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが暮らしやすい住宅に居住することを支援する。				
【事業概要】 世帯人員の増加に伴う間取りの変更や段差解消等を行う場合に、工事費の一部を助成する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
65歳未満世帯に対する助成件数 (件/年)	20件	20件 ----- 49件	2件	2件

● 自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
支出 5,213千円(49件)	戸建住宅及び共同住宅の専用部 浴室段差解消、フローリング化、 浅型浴槽設置、トイレ洋式化、 浴槽暖房、間取り変更、耐震ドア設置、 屋根軽量化、手すり設置、 段差解消(浴室以外) 分譲マンションの共用部 手すり設置、スロープ設置
実績・効果に対する今後の課題・方針	
助成制度のPRを積極的に行ない、安全で快適な住まいの確保の推進に努める。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：住宅の改良支援

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>部署によって活躍できたところと、今後に期待するところと、やや濃淡がありましたが、コロナ禍において増加するニーズに十分に応えています。そしてさらなるニーズに応えようとしている姿勢がうかがわれました。</p>	<p>★★★★☆  5段評価の 4点</p>

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』
施策群 だれもが暮らしやすい住宅を確保する

施策 2-(2)-②

住宅確保要配慮者への居住支援

施策の個別事業

住宅確保要配慮者に対する住宅あっせん事業（住宅課・高齢福祉課）・・・・・・・・・・ P79

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P80

施策：住宅確保要配慮者への居住支援

個別事業名：住宅確保要配慮者に対する住宅あっせん事業 (住宅課・高齢福祉課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住宅環境を支援する。					
【事業概要】 不動産団体の協力を得て、住宅確保要配慮者(※)の希望する条件を備えた民間賃貸住宅をあっせんする。 ※ 住宅確保要配慮者：低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する者その他住宅の確保に特に配慮を要する者。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
支援制度の利用件数 (件/年)	目標	50件	50件	50件	50件
	結果		55件		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
住宅課及び高齢福祉課等に相談のあった55件の住宅確保要配慮者に対し、民間賃貸住宅のあっせんを行った。	民間賃貸住宅のあっせんを行った結果、17件の住宅確保要配慮者が新たに賃貸住宅へ入居することができた。 入居に至ったケースとして、①住宅あっせんによる紹介、②あっせんした不動産会社を通じて、他社による紹介が見受けられた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
令和2年12月に足立区居住支援協議会を設立し、住宅確保要配慮者に対する居住支援施策等について検討を開始。 令和3年度から新たに「あだちお部屋さがしサポート事業」を実施。 【あだちお部屋さがしサポート事業の概要】 ① 窓口による相談受付：民間賃貸事情に精通した専門職員を配置して相談受付 ② 寄り添いお部屋紹介：区の住宅・福祉部局と不動産協会が集まり、具体的なお部屋を紹介 ③ 区による伴走支援：専任職員が不動産会社や現地内覧等に同行、費用の一部助成 ④ 入居後の継続支援：入居後も相談を受け付けることで家主の安心を確保	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：住宅確保要配慮者への居住支援


●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

援助を必要としている人に対して、住宅確保が困難である。

大事な良い施策だと思う。新型コロナウイルス感染症の拡大により事業の必要性も増えるのではないかなと思う。すごく頑張っていたきたいと思う。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>福祉的な観点からも、とても大切なよい施策と考えます。コロナ禍において業務量もも増えると考えられるため、さらに期待をします。連絡がとれなくなり、継続的にかかわることができない事例も多いと聞きました。こういう方々こそ困難事例(ほんとうにケアが必要)と認識して取り組んでいただくことを望みます。</p>	<p>★★★★☆  5段評価の 4点</p>

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』
施策群 だれもが使いやすい製品を普及させる

施策 2-(3)-①

ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

施策の個別事業

- 1 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及を支援する（産業振興課）・・・P82
- 2 ユニバーサルデザイン製品の展示（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・・P83

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P85

施策： ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

個別事業名： 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品の普及
を支援する（産業振興課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 展示会等に出展した製品について、安全・安心に配慮した、だれもが使いやすい製品があることを広く知ってもらおう。					
【事業概要】 足立ブランド(※)で出展する大型見本市や足立ものづくりフェスタ、大型商業施設等での展示販売会に出展する。 ※ 足立ブランド企業は、開発・製造した製品が、安全・安心に配慮した信頼性のある製品となっているかを確認して認定している。					
	計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取り組みに対する指標					
UD製品の出展件数（件/年）	目標 結果	7 件	8 件 ----- 事業中止	8 件	8 件

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
9 月に見本市「国際雑貨 EXPO」への出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で出展を見合わせた。	展示会で多くの来場者に対して、製品をPRする予定だったが、出展を見合わせたため、目標は達成できなかった。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国内外で見本市の中止などが広がっている。コロナ禍でも広く製品を周知できるよう、オンラインを活用した普及方法を検討していく。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

個別事業名： ユニバーサルデザイン製品の展示
 (ユニバーサルデザイン担当課)

●施策に対する事業の概要
施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画
【目的】

ユニバーサルデザインに関連する製品を様々な機会で紹介し、普及する。

【事業概要】

- ① ユニバーサルデザインに関連する製品の展示会を開催する。
- ② ユニバーサルデザインと思われる製品を収集し、貸出しを行う。
- ③ 収集した製品の紹介カードを作成し、ユニバーサルデザインに関するイベント等にあわせて配布する。

計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
① ユニバーサルデザイン製品の展示会の開催回数（回/年）	目標		2回		
	結果	2回	2回	2回	2回
② ユニバーサルデザイン製品の貸出件数（件/年）	目標		3件		
	結果	2件	2件	4件	5件
③ ユニバーサルデザイン製品紹介カードの配布件数（件/年）	目標		110部		
	結果	100部	250部	120部	130部

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>① 2回 ② 2件 ③ 250部</p> <p>① ユニバーサルデザイン製品展及びユニバーサルデザイン講演会を実施した。これまでの「住」に関する製品に加え、「食」に関連した「ユニバーサルデザインフード」を展示・紹介した。</p> <p>② 貸し出し件数、2件 貸し出し製品数 50製品 を区立小学校に貸し出すことができた。</p> <p>③ ①の展示会、講演会やユニバーサルデザイン出張講座を通じて、配布した。</p>	<p>① 製品展の様相について取材を受け、あだち朝日に掲載された。</p> <p>② 従来の製品展は、製品を手にとって体験していただく形であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、ソーシャルディスタンスを確保できるよう、製品のパネルの間隔を広げて展示した。</p> <p>③ 区立小学校におけるユニバーサルデザイン出張講座において、講座前後に区立小学校が授業で用いるため、文具や日用品などのユニバーサルデザイン製品が利用された。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催や、展示のやり方について検討する必要がある。</p> <p>東京 2020 オリンピックパラリンピックの開催に合わせ、ユニバーサルデザインにおける様々な取り組みが紹介されている。</p> <p>東京 2020 オリンピックパラリンピック開催後には、大会のレガシーとしてユニバーサルデザインをより浸透させるような取り組み、製品の普及を図っていく必要がある。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：ユニバーサルデザイン製品の周知啓発

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>オリンピックをレガシーにすることはできなかったため、今後の展開を再考する必要がある。</p>	<p>★★★★☆  5段評価の 4点</p>

柱立て 快適にすごせる『くらしづくり』

施策群 だれもが使いやすい製品を普及させる

施策 2-(3)-②

ユニバーサルデザイン製品の開発支援

施策の個別事業

- 1 区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する（産業振興課）・・・P87

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P88

施策：ユニバーサルデザイン製品の開発支援成

個別事業名：区内事業者のユニバーサルデザイン関連製品づくりを促進する（産業振興課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 製品開発者にユニバーサルデザインの考え方を伝えていく。					
【事業概要】 事業者に対し、専門の講師による製品づくりのアドバイスを行うため、「あだち新製品開発講座」を実施する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
あだち新製品開発講座の実施回数 (回/年)	<div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">目標</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px;">結果</div>	19回	19回 ----- 0回	19回	19回

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で産業団体の定例会や新製品開発講座の回数が減少したため、ユニバーサルデザインの理念や効果について紹介することができなかった。	今後、講座受講者や産業団体が集まる際に、ユニバーサルデザイン担当課と連携し周知をしていく。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今後もユニバーサルデザイン担当課と連携し、講座や産業団体の集まり等を活用して区内事業者に対して周知を行っていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： ユニバーサルデザイン製品の開発支援

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>ビジネスとして成立するには消費者が必要。 まずは様々な人達が何を求めているかを事業者に伝える必要がある。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 3点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』

施策群 だれもが円滑に移動できる環境を整備する

施策 3-(1)-①

安全な道路環境の整備

施策の個別事業

- 1 歩行者系案内サインに関する各種取組み（都市計画課）・・・ P90
- 2 自転車ナビマークの整備（交通対策課）・・・ P91
- 3 歩車道のバリアフリー化工事（工事課）・・・ P92
- 4 都市計画道路の整備（街路橋りょう課）・・・ P93

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・ P95

施策：安全な道路環境の整備

個別事業名：歩行者系案内サインに関する各種取組み（都市計画課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な歩行空間を整備する。				
【事業概要】 「足立区歩行者系案内サインマニュアル」に基づき、主要駅から公共施設等までの安全で円滑な移動を支援する歩行者系案内サインを整備する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
① 案内サイン整備場所	目標	足立区サインマニュアル改定	江北駅周辺地区（計画）	（整備10基/年）
	結果		実施した	
② 案内サイン整備期間	目標		北千住駅周辺地区（計画）	（整備10基/年）
	結果			
③ 案内サイン整備基数	目標	盤面修繕（整備15基/年）		
	結果		実施した 21基	

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>歩行者案内サイン(21基)の盤面修繕を実施した。公共施設の改廃等に伴って表示情報の更新を行うとともに、文字やマークの配置を見直してより見やすい板面とした。</p> <p>千住一丁目地区市街地再開発事業完了にあわせて歩行者案内サイン(1基)を更新した。更新するにあたっては、ユニバーサルデザインに配慮した形状や表示高さとした。</p>	<p>板面情報の正確性や分かりやすい表示は、利用者が案内サインに期待する重要な役割・機能であるため、引き続き、板面修繕・更新を適宜行っていく。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和3年度に江北地区内において、「足立区バリアフリー地区別計画(江北周辺地区編)」及び「江北地区歩行者案内サイン設置計画」に基づいて、歩行者案内サインの新設(9基)及び板面修繕(1基)を実施することとしている。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：安全な道路環境の整備

個人事業名： 自転車ナビマークの整備（交通対策課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもが安心して移動できる自転車の通行空間を整備する。				
【事業概要】 自転車走行環境の整備のため、自転車ナビマークを明示する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
自転車ナビマーク整備場所	目標	綾瀬駅周辺 竹ノ塚駅周辺 の一部	花畑地区 竹ノ塚駅区の 一部	江北地区
	結果		事業中止	竹ノ塚駅周辺 一部

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により変更)	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
<p>新型コロナウイルス感染症の対策費用捻出のため、不要不急な工事について中止することとなった。そのため、令和2年度に予定していた自転車ナビマークの整備は次年度へ繰越することとなった。</p> <p>鉄道立体化に伴い竹ノ塚駅南側にある大踏切りの延長が短くなったため、大踏切付近約100mについて自転車ナビマークの整備を行った。</p>	<p>駅周辺に自転車ナビマークを明示する事によって、自転車は原則、車道の左側通行であることを普及啓発することができた。</p>	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
<p>昨年度中止となった竹ノ塚駅西口及び花畑地区の自転車ナビマークを整備していく。</p> <p>また、ガスや水道などの他企業の掘削工事により自転車ナビマークが撤去されないように工事調整を行っていく。</p>		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：安全な道路環境の整備

個人事業名：歩車道のバリアフリー化工事（工事課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な道路を整備する。					
【事業概要】 ①安全で使いやすい歩道を整備するために、歩道の拡幅、誘導ブロック等の設置、街きよ(※)の段差解消(マウントアップ→セミフラット)等を実施する。 ※街きよ: 舗装された街路の雨水等が流れ込む排水用の側溝。 ②足立区無電柱化推進計画に基づき、地震等の災害時に倒壊の危険がある電柱を無くし、無電柱化を実施する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
歩道改修の整備距離	目標	梅島一丁目 谷中二丁目 谷在家一丁目	梅島一丁目 加賀二丁目 580m	江北四丁目 160m	江北四丁目 190m
	結果	688m	一部変更して 実施した		
無電柱化の整備距離	目標			②680m	②190m
	結果			江北四丁目	江北四丁目

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により変更)	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
梅島一丁目の誘導ブロック改修工事を行った。	基準に適合しない誘導ブロックを改修することで、安全性の向上を図った。	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
令和3年度は、令和2年度繰越しとなった加賀二丁目(東京女子医大通り) 歩道拡幅及びセミフラット化工事を完成させる。 また、江北四丁目の東京女子医科大学足立医療センターの外周道路における無電柱化工事を進め完成させる。		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：安全な道路環境の整備

個別事業名：都市計画道路の整備（街路橋りよう課）

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもが安心して移動できる安全な道路を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>①都市計画道路等の用地取得を行う。 ②電線共同溝工事を行う。 ③歩道は、街きよの段差が少ないセミフラット形式とし、誘導ブロック等の設置を実施する。 車道は、幅員確保が可能な場合には自転車レーンを設ける。</p>				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
① 事業の進捗状況	目標 補助第 256 号線 事業認可取得 結果	①補助第 256 号線 用地取得 ----- 一部用地取得		
② 電線共同溝工事の実施距離	目標 主要区画道② 244m 結果		補助第 138 号線 の 2 280m 区画街路 14 号 97m	
③ 整備距離	目標 六町加平橋 取付道路 結果	主要区画道② 歩車道整備 ----- 244mの歩道 整備工事実施 114mの舗装工 事実施 開通		区画街路 14 号 97m

3-(1)-① 安全な道路環境の整備

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果		計画通り進行
実績・UDとして実施したこと		効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> ① 補助第 256 号線の一部用地を取得した。 ② 主要区画道路② 244m 歩車道整備工事の実施。 ③ 六町加平橋取付道路 114m 舗装工事の実施。 	<p>主要区画道路②については、セミフラット形式の歩道及び車道を整備し、令和3年3月に開通することができた。</p> <p>六町加平橋は歩車道の舗装工事を実施し、令和3年3月に開通することができた。</p>	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
<p>今後もユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全で安心して通行できる都市計画道路等の整備を推進する。</p>		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名: 安全な道路環境の整備

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>規格通りに整備したから完了ではなく、利用者の意見を聞き、地域の実情に合った整備にしっかり取り組んで欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが円滑に移動できる環境を整備する

施策 3-(1)-②

歩行者空間の確保

施策の個別事業

- 1 駅前における放置自転車対策について（交通対策課）・・・・・・・・・・ P97
- 2 歩行者が安心できる道路環境作り（防犯設備課）・・・・・・・・・・ P98

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P99

施策： 歩行者空間の確保

個別事業名： 駅前における放置自転車対策について（交通対策課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが円滑に移動できるように歩行者空間を確保する。					
【事業概要】 鉄道駅周辺において自転車等放置禁止区域を指定（路面ステッカー等にて掲示）し、自転車駐車場への誘導及び警告・撤去活動等を行い、放置自転車を削減する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
自転車 [※] の放置率 [※] ※放置台数／乗入台数（放置台数＋駐輪場内の駐車台数） ※小数点第2位以下切捨て	目標	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下	0.5%以下
	結果		0.4%		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区内鉄道各駅で、100～200日、街頭指導員による自転車駐車場への誘導、放置自転車への警告の札付及び撤去活動を行った。	東京都による駅前放置自転車の現況と対策調査の結果、駅前における自転車の放置率は0.4%で、8年連続で23区最少の数値を記録した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
放置自転車対策業務と自転車駐車場の管理運営業務を一体化した総合自転車対策業務委託を引き続き実施し、より効率的な街頭指導及び撤去活動を目指していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 歩行者空間の確保

個別事業名： 歩行者が安心できる道路環境作り（防犯設備課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが円滑に移動できるように歩行者空間を確保する。					
【事業概要】 警察と合同でパトロール等を実施し、区道を不法に占用、使用している方々に適正な指導を行う。					
	計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取組みに対する指標					
新規苦情受付に対し、 指導を行い解決への方向性を示した割合	目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
	結果		77%		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>道路の不法占用、不正使用の苦情に対し、全件1週間以内に現場確認を行い、現地調査、原因者に対する指導を実施した。今年度は新規苦情の144 件のうち、77%にあたる 112 件の苦情に対して、解決、解決へ導くための方向性を示すことができた。</p> <p>また 2019 年度に未解決となっていた案件のうち 20 件を解決することができた。</p>	<p>訪問や手紙の投函を継続的に行ったことにより解決に繋がったものと考えられる。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>解決案件を80%以上にするという令和2年度の目標を達成することができなかった。来年度は今年度以上に根気よく指導を繰り返し行い、目標値を達成できるよう指導方法を検討していく。今年度解決への道筋をたてることができなかった 32 件の未解決案件については、令和 3 年度も引き続き解決に向け対応していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名：歩行者空間の確保

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

解決率がどの程度が良いのか、その指標が分からないために全て解決しないといけないのか、または毎年頑張ってもこれぐらいしか解決できないという過程と結果の因果関係が分からない。つまり解決した件数はどの程度なのか、そしてその内容が把握できていないのであれば、解決数だけでは判断できないのでは。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>これまでの取り組みで成果は出ているが、今後は個々の地域や場所に実情に合ったやり方で歩行空間の確保に努めて欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』

施策群 だれもが円滑に移動できる環境を整備する

施策 3-(1)-③

公共交通施設の整備・誘導・支援

施策の個別事業

- 1 「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の策定（企画調整課）・・・P101
- 2 「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備（交通対策課）・・・P102

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P103

施策：公共交通施設の整備・誘導・支援
個別事業名：「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助要綱」の策定（企画調整課）
●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 安心して安全な利用しやすい駅舎の整備を支援する。					
【事業概要】 「足立区鉄道駅ホームドア等整備事業費補助金交付要綱」に基づき、 鉄道事業者に補助金を交付する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
ホームドア整備の状況	目標	ホームドア等設置工事（東武線北千住駅3階ホーム）	→	鉄道事業者の整備計画と要望に合わせて調整	→
	結果		実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>区補助金交付要綱に基づき、東武鉄道(株)に補助金を交付し、北千住駅ほか4駅のホームドア設置を推進する支援を実施した。</p> <p>令和2年4月10日に補助金交付限度額を2000万円引き上げる区補助金交付要綱を改定し、鉄道事業者へ財政支援の拡充を図った。</p>	<p>北千住駅は、計画通りホームドアの設置が完了し、供用開始した。また、ほか4駅も調査・測量・設計に着手し、事業が進捗した。</p> <p>区補助金申請件数が増加し、鉄道事業者のホームの安全性向上に向けた早期整備の促進に繋がった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>東武鉄道(株)は、小菅、五反野、梅島、西新井駅のホームドア整備事業を引き続き行う。さらに、令和3年度は、区補助金を活用し、竹ノ塚駅のホームドアの整備を進める。</p> <p>今後も鉄道事業者に対してホームの安全性向上を図るため、区内鉄道駅のホームドアの早期整備を要望するとともに、鉄道事業者の整備計画等に合わせて財政支援を行う。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策：公共交通施設の整備・誘導・支援

**個別事業名：「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の整備
(交通対策課)**

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 安心で安全な利用しやすいバス停の利用環境を整備する。					
【事業概要】 整備条件の整っている(※)「はるかぜ」バス停のベンチや点字ブロック等の設置を行う。 ※歩道の幅員が充分確保されており、歩行者の通行を妨げない箇所においてベンチの整備を進め、歩道が整備されているバス停では点字ブロックの整備を進める。ベンチ、点字ブロックとも、バス停の利用者が多い駅周辺や高齢者が多数利用する施設の周辺(福祉施設や病院等)を優先的に整備する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
設置箇所数	目標	26か所/年	26か所/年	26か所/年	26か所/年
	結果		0か所/年		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、予算が先送りとなったため、整備したバス停は無かったが、令和3年度に向け、整備検討するバス停の選定作業を行った。	選定にあたっては、バス停の利用者が多い駅周辺や高齢者が多数利用する施設の周辺(福祉施設や病院等)を優先的に検討している。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
上記のとおり、令和2年度は利用環境の整備は叶わなかった。今後もバス事業者と協力しながら、バス停の利用者が多い駅周辺や高齢者が多数利用する施設の周辺(福祉施設や病院等)を優先的に整備し、誰もが安心して安全に利用できるバス停の実現に努めていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名：公共交通施設の整備・誘導・支援

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

交通事業の推進は技術的に非常に難しいと感じます。お金もかかる。ただ、利用者目線からすると、自分が毎日使っている駅とかバス停の状況によっては利用できないということになりかねません。駅やバス停がしっかりと整備されていないと使う、使わない、と1か0かということになってしまう。

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>粛々と進められていて、目に見えるかたちで進行していることがわかりました。これらは長期的視座が必要な施策と思います。引き続き、区民等の利用者ニーズの掘り起こしに努めて、施策の実行に取り組んでいただければと思います。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

施策 3-(2)-①

公共建築物のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 本庁舎施設の整備（庁舎管理課・中部地区建設課）・・・P105
- 2 ユニバーサルデザインに配慮した公共建築物を整備する（中部地区建設課）・・・P106
- 3 住区センターの案内サインの整備（住区推進課）・・・P108
- 4 大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムの設置（中央図書館）・・・P109

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P110

施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 本庁舎施設の整備（庁舎管理課・中部地区建設課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準のユニバーサルデザインの整備方針・整備基準」を基に、本庁舎施設を整備する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
整備場所・整備内容・整備期間	目標	北館改修 (設計準備)	(設計)	→ (2023年度 工事予定)	
	結果		変更して実施		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>本庁舎ロータリーに設置している各バス乗り場すべてを表示している(点字表示あり)案内板が経年劣化により判読出来なくなった。</p> <p>案内板本体を活かし、上からシートを貼る工法で健常者及び視覚障がい者双方が、認識性、利用性が高まるよう改修した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定の計画から大幅な業務内容の変更があり、再度検討段階の為、報告できる実績がない。</p>	<p>視認性、利便性について、改善出来た。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定の計画から大幅な業務内容の変更があり、再度検討段階の為、達成内容はない。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>本庁舎ロータリーに設置しているバス乗り場の路線の変更に対して、迅速なる修正に努める。</p> <p>2022年度から設計委託に入る為、当初から目的としている「だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。」を念頭に置き、北館の改修設計を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
<p>【伊興地域学習センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授乳室の整備実施。授乳の際の手洗い場設置。 ・ 母乳による授乳スペースは間仕切り設置。 <p>【入谷住区センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多機能トイレの整備実施。 ・ ベビーベッド・ベビーチェア・緊急呼び出しボタン等の設置。 <p>【本木関原住区センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エレベーターの新規設置。 <p>【西伊興住区センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多言語標記総合案内板の整備実施。 ・ 点字・音声案内誘導装置等の設置。 	<p>足立区公共施設等整備基準に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備基準を実施し、誰もがより安全に安心して利用しやすい施設となった。</p>	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
<p>対象となる工事については、足立区公共施設等整備基準等に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した整備を行い、すべての人に優しい公共施設を整備していく。</p>		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 住区センターの案内サインの整備（住区推進課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。					
【事業概要】 区が整備する公共建築物の案内サインを整備する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
案内サインを改修・整備期間	目標		必要に応じて、随時整備		
	結果		実施した		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行(○○○○○理由)	
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと	
入谷住区センター、本木関原住区センター、西伊興住区センターの大規模改修工事に伴い、案内板・館内サインをユニバーサルデザインや多言語(英語・中国語・韓国語)に対応させた。	住区センターに来館する外国人の方に対し、分かりやすい案内をするための体制を整えることができた。	
実績・効果に対する今後の課題・方針		
今後も引き続き、施設の大規模改修工事や新築工事等の機会を利用し、ユニバーサルデザインに配慮した案内板や館内サイン等の整備を行う。		

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 大規模改修に伴う図書館内サイン、ピクトグラムを設置
(中央図書館)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共建築物を整備する。					
【事業概要】 区が整備する公共建築物の案内サインを整備する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
案内サインを改修・整備期間	目標		必要に応じて、 随時整備		
	結果		実施した		

● 自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
伊興図書館の大規模改修工事に伴い、案内サインを多言語化、ピクトグラム表示を実施した。 ・ 大規模改修期間：令和元年9月2日から令和2年7月20日まで 多言語化箇所：2箇所 ピクトグラム化した箇所：1箇所	案内サインの多言語化やピクトグラム表示の実施により、外国人利用者を含め、だれもが利用しやすい館内環境を整備した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今後、図書館の大規模改修工事に合わせ、館内案内サインの多言語化とピクトグラム表示に取り組み、障がいや言語などにかかわらず読書に親しめる館内環境の整備を進めていく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 公共建築物のユニバーサルデザインの推進

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>迅速な対応の体制ができつつあると思いました。案内サインのユニバーサルデザインも、年々充実しているようです。引き続き、量的、質的向上に努めてください。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

施策 3-(2)-②

区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

1 ユニバーサルデザインに配慮した学校施設整備設計（中部地区建設課）・・・P112

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P114

施策： 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した学校施設整備設計
(中部地区建設課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが安心して移動できる安全な歩行空間を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」に基づき、区立小・中学校を整備する。また、災害発生時の第一次避難所としても、使いやすい施設となるよう配慮する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
整備する学校・整備内容・整備期間	目標	千寿青葉 中学校	(工事)	→	
	結果	(設計・工事)	実施した		
	目標	綾瀬小学校	(工事)	→	
	結果	(設計)	実施した		
	目標	江北小学校と 高野小学校の 統合校	(工事)	→	
	結果	(設計)	実施した		
	目標	北鹿浜小学校 と鹿浜西小学 校の統合校	(設計)	→	(工事)
	結果	(設計)	実施した		
	目標		東綾瀬中学校 (設計)	→	→
	結果		実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> ・千寿青葉中学校 ・綾瀬小学校 ・江北小学校 ・高野小学校の統合校 ・北鹿浜小学校 ・鹿浜西小学校の統合校 <p>新築工事設計において、昇降口等のバリアフリー化、誰でもトイレの設置、エレベーターの設置等を組み込んだ設計を行い、現在工事中である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・千寿青葉中学校 ・綾瀬小学校 ・江北小学校 ・高野小学校の統合校 ・北鹿浜小学校 ・鹿浜西小学校の統合校 <p>新築工事設計において、昇降口等のバリアフリー化、誰でもトイレの設置、エレベーターの設置等を組み込んだ設計を行い、現在工事中である。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>東綾瀬中学校の新築工事設計において、昇降口等のバリアフリー化、誰でもトイレの設置、エレベーターの設置等を組み込んだ設計を行っている。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


施策の評価

施策名： 区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進

●施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】
<p>基準は環境整備基準等の基準自体はあるが、それだけで、他のルールがない。</p> <p>結果的にガイドラインに沿えばユニバーサルデザインなるはずだが、設備に必要な一人当たりの面積が増えてしまったから、既存不適格になってしまう。現在作っているものも既存不適格になってしまう。</p>

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>新築にしる改修にしる、利用者の意見を聞いて、実情に合った整備に努めて欲しい。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

施策 3-(2)-③

区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等（子ども施設運営課）・・・P116

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P118

施策： 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 保育園利用者の利便性に配慮した施設改修等
(子ども施設運営課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な保育施設を整備する。</p> <p>【事業概要】 施設修繕や危険箇所^(※)の改修を行うとともに、トイレ改修をはじめとした、施設のユニバーサルデザイン整備を進める。</p> <p>※園職員からの随時の報告のほか、建築基準法第12条点検などの委託事業者による点検、施設管理者(園長・主管課職員)による年1回の施設総点検で把握する。</p> <p>施設改築等に合わせて、「足立区公共施設等整備基準」等に適合したユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行う。</p>				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標	和式トイレの洋便器化 3施設	和式トイレの洋便器化 3施設	和式トイレの洋便器化 3施設	和式トイレの洋便器化 3施設
整備する学校・整備内容・整備期間	目標 トイレ1施設 (改修設計)	(工事) 実施した		
	結果			
	目標	トイレ1施設 (改修設計)	(工事)	
	結果	実施した		
			トイレ1施設 (改修設計)	(工事) トイレ1施設 (改修設計)
	施設の修繕、危険箇所の改修			

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区立保育園3園でトイレ改修工事を実施 (2件前倒し実施。内1施設はトイレを含む内装改修設計) ・ 外柵改修及び電気錠設置工事 ・ 電気設備改修設計委託 ・ 施設の修繕・改修工事 174件実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乾式のトイレに改修したことにより、園児の上履きの脱ぎ履きが不要となった。 大人用トイレもすべて洋式化され、職員の負担も軽減された。 ・ 外柵の高さを嵩上げたことで、不審者の侵入防止や園児の外柵乗り越えなどの危険を排除することができた。 ・ 通用門を電気錠(オートロック)化したことで、ラッチ錠やかんぬき錠を閉めるという煩わしさから解放され、鍵の閉め忘れを原因とした意図しない園児の飛び出しを防ぐことができるようになった。 ・ 職員が暗いと感じている場所への照明器具増設を計画した。 ・ 使いづらい位置にあったコンセントを使いやすい位置に移設するよう計画し、職員の利便性向上が図れる見込み。 ・ 老朽化したエアコンの更新や床・畳の補修等を行うことで快適な生活環境を提供できたほか、小破修繕を適宜実施することで、施設の安全性・利便性の向上が図れた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>令和2年度のトイレ改修工事を実施した結果、竣工後の効果は大きいものの、工事期間中はトイレが使用できず仮設トイレを使用したり、保育室を移動しなければならなかったりと、園児や職員への負担が大きかったことが判明した。</p> <p>負担と効果のバランスを考えながら、適正規模の工事を実施していく必要がある。</p> <p>施設の老朽化が進み、修繕や改修の件数が増えている。壊れた箇所を修理してだけでなく、施設の計画的な改修も実施していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>計画的にしっかり進めているが、工事中の対応など、工夫しながら進めて欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい公共建築物等を整備する

施策 3-(2)-④

区営住宅のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 新田地域における区営住宅の集約建替えについて（住宅課・区営住宅更新担当課）
・・・・・・・・・・P120

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・P122

施策： 区営住宅のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 新田地域における区営住宅の集約建替えについて
 (住宅課・区営住宅更新担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な区営住宅を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>①「足立区区営住宅等長寿命化計画」に基づき集約建替えを行う。その際は「足立区公共施設等整備基準」を遵守する。</p> <p>②集約建替え団地において居住者情報交換会を開催し、建替え計画等に関する意見交換を丁寧に行う。</p> <p>③集約建替え団地を対象に建替え計画等に関するニュースを発行し、建替え計画等に関する情報提供を行う。</p>				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
① 建替えの進捗状況	新田地域区営住宅集約建替え (仮移転)	(基本設計) 実施した	(実施設計)	(建設工事)
② 居住者情報交換会 開催回数	1~2 回/年	1~2 回/年 中止	1~2 回/年	1~2 回/年
③ 建替えニュースの発行回数	2 回/年	2 回/年 1 回/年	2 回/年	2 回/年

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>①令和2年5月に設計業者が決まり、基本設計を進めた。</p> <p>②居住者との意見交換会は、周辺に広い会場がないことに加え、高齢者が多く、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見送った。</p> <p>③計画では2回だったが、設計が思うように進まず、1回しか発行できなかった。</p> <p>内容は基本設計でまとめたことをニュースにして、令和3年3月に居住者に配付し、それと同時に住戸及び集会室に関するアンケートを実施した。</p> <p>ニュース及びアンケートは、見やすくするため、シティブロモーション課を相談しながら作成した。</p>	<p>①長寿命化計画に基づいて、エレベーター設置を設計に反映した。</p> <p>②居住者との意見交換会で頂いていた意見を、概ね設計に反映することができた。</p> <p>(設計に反映できた意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐輪場をラック式ではなく、平置きとした。 ・ 新たに植栽する樹木は、落葉樹としない。 ・ ごみ置き場を道路から離して設置することができた。 <p>(もう少し調整が必要な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯カメラの設置について意見があり設置することとなったが、カメラの向きについて、今後居住者の意見を聞き調整していく。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後も、居住者との意見交換会は難しいと思われるが、ニュースの発行と併せてアンケートを引き続き行うことによって、居住者の意見を聞き、できるだけ設計に反映していく。</p> <p>「足立区区営住宅等長寿命化計画(令和2年3月)」に沿って、エレベーターの設置が困難な住棟を中心とした集約建替えを、円滑に進めていく。</p> <p>建物完成後も居住者の意見を聞き、改善等が必要な部分は長寿命化計画に記載し、計画的に改善を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


施策の評価

施策名： 区営住宅のユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】
<p>最低限だと車椅子1台が乗るのがぎりぎりだと思います。最低限ではなく設置できる最適な大きさというのを考えた上で、どの程度大きくできるのかという視点で、ぜひエレベーターの設置をご検討いただきたいというふうに感じました。</p> <p>住民の意向をいかに把握するかということでは、当事者の意向等を反映させる、そういう場を持ったということで、形だけではなくて酌み取ろうとしているというふうな姿勢を評価する。</p> <p>取組に対する指標等々から、アンケートを取って情報交換をする目標から、それを実際に設計に反映できたというのは評価する。</p> <p>大型の車椅子とか背もたれが寝るような車椅子とか、そんな人はどこにもいないじゃないかエレベーターを使っていないじゃないかではなく、やっぱりなるべくたくさんの方が使えるということを目指す必要があるのではないか。</p>

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>コロナ禍であっても、意見聴取などに努力されていて、少しでもよいものを提供していくという熱意が感じられました。多様な方々が暮らしていることから、とくに管理面の対応に苦慮されていることはわかりました。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する

施策 3-(3)-①

区立公園等のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 区立公園等のユニバーサルデザインの推進（みどり推進課）・・・・・・・・・・ P124

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P126

施策： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進
(みどり推進課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公園等を整備する。</p> <p>【事業概要】 「パークイノベーション推進計画」に基づき、公園等を改修・新設工事を行っている。 公園改修等に当たっては、利用者アンケートや公園活用推進連絡会を開催するなど、身障者や高齢者等の意見を聞きながら、利用しやすい公園の整備方法や管理方法を検討する。</p>				
計画年度 取組みに対する指標	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
	公園 9 か所 (工事)			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標</div> <div>公園 6 か所 (設計)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">結果</div> <div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100px;"></div> <div style="margin-left: 5px;">(工事)</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 2px;">実施した</div> </div> </div>		公園 8 か所 (設計)	公園 9 か所 (設計)	公園 11 か所 (設計)
		公園 8 か所 (設計)	公園 9 か所 (工事)	公園 9 か所 (工事)

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>8公園9か所の公園で、出入口の段差解消、点字ブロックの整備及び3か所の公園でトイレへの点字誘導ブロックの設置を行った。</p> <p>バリアフリートイレへの改修、洋便器化、オストメイトの設置を各1公園で実施した。</p> <p>8公園でこどもにもわかりやすいイラスト案内板を設置した。</p> <p>スペシャルクライフコート(障がい者等も安心して利用できるスポーツ広場)を総合スポーツセンターに整備した。</p> <p>スペシャルクライフコート周辺整備にあたり、障がい者団体との現地踏査を実施した。</p>	<p>視覚障がい者、高齢者等への利便性・安全性の向上が図られた。</p> <p>利用者要望の多い洋便器化が進んだ。</p> <p>障がい者等のスポーツへの取り組み機会の向上に寄与できた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>公園改修時の遊具選定にあたっては、可能な箇所へのインクルーシブ遊具の設置を検討していく。</p> <p>計画時及び完成後に公園利用者への聞き取り調査や意向確認等を実施して、誰もが利用しやすい地域に愛される公園改修に努めていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 区立公園等のユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

公園の案内やイラストが本当に分かりにくい為、イラストではなくピクトグラムの方に統一していただきたい。
公園でボール遊びを禁止にすると、子どもたちが楽しく遊べない為、楽しい遊具を置くしかないというよう
な、いろいろな意味で矛盾も抱えていたりすると考える。公園自体の考え方、使い方を、もう一度見直して
いただきたいと思う。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>インクルーシブ遊具など新しいものを積極的に取り入れている姿勢がうかがわれました。その一方で、公園の案内を分かりやすいデザインする点については、たいへん優れたものと、大いに課題があるものが混在しているようでした。さらなる向上に期待します。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』
施策群 だれもが利用しやすい屋外施設等を整備する

施策 3-(3)-②

公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 西新井東・西新井西自転車駐車場の整備（交通対策課）・・・・・・・・・・ P128

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P129

施策： 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： 西新井東・西新井西自転車駐車場の整備（交通対策課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な自転車駐車場等を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」に基づき、老朽化した自転車駐車場等の改修に合わせ検討し整備する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
	目標	北綾瀬北自転車駐車場(工事)	→	老朽化調査の結果に沿って実施	→
	結果		実施した		
整備場所・整備内容・整備期間		西新井東・西自転車駐車場(工事)			
	目標	サイクルパーク綾瀬自転車駐車場(改修工事)	→		
	結果	サイクルパーク綾瀬自転車駐車場(改修設計)	実施した		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
北綾瀬北自転車駐車場(412台)工事完了 412台中 子ども乗せ自転車対応ラック 73台 平置きスペース 8台を 確保した。 サイクルパーク綾瀬自転車駐車場(642台)改修工事完了 642台中 平置きスペース 77台 を確保。	整備した自転車駐車場は利用規約や注意喚起看板等の多言語化を実施した。 子乗せ自転車対応の自転車ラックを一部採用した。 多様な自転車が利用できるような平置き駐車スペースを確保した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
今後も多様な自転車の駐輪に対応できる自転車駐車場を整備していく	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他


施策名： 公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

交通事業の推進は技術的に非常に難しいと感じます。お金もかかる。ただ、利用者目線からすると、自分が毎日使っている駅とかバス停の状況によっては利用できないということになりかねません。駅やバス停がしっかりと整備されていないと使う、使わない、と1か0かということになってしまう。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>自転車も電動式や3人乗り等、形状が多様化しており、誰もが利用しやすくなるように工夫が必要。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』

施策群 だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

施策 3-(3)-③

イベント会場等のユニバーサルデザインの推進

施策の個別事業

- 1 イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援
(シティプロモーション課)・・・P131

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・P132

施策： イベント会場等のユニバーサルデザインの推進

個別事業名： イベントで使用するパネル等の作成や会場のレイアウト支援（シティプロモーション課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心なイベント会場等を設営する。					
【事業概要】 会場レイアウトや案内サインの相談・アドバイスを実施する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
相談・アドバイスに対応した割合	目標	100%	100%		
	結果	会場整備に関する ポイント周知	100%	100%	100%

● 自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画通り進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>各所管課がイベントやパネル展などをする際の、レイアウトや看板、パネル等の作成を支援した。 (対応した割合:100%)</p> <p>展示ブースの設営に立ち会い、現場でレイアウトのアドバイスを行った。</p>	<p>相談やイベントブースの作り方のマニュアル等を通じて、来場者の立場に立ったイベントブースの作り方が庁内に定着しつつある。</p> <p>常駐デザイナーがいることで、迅速かつ高度なアドバイスが可能となった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>引き続き、相談やアドバイスを通じて、会場レイアウトや「わかりやすい」「伝わりやすい」案内サインの制作やデザインの統一性などを意識した支援を行っていく。</p> <p>5大イベントの前には掲示板等でイベントブースの作り方マニュアルを掲示し、周知を図る。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： イベント会場等のユニバーサルデザインの推進

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>コロナの関係でイベント自体が少なかったが、今後に継げるようにイベントをする所管にはアプローチを続けて欲しい。コロナ対策にもしっかり対応してほしい。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』

施策群 だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

施策 3-(4)-①

国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導

施策の個別事業

- 1 都立中川公園整備の検討（企画調整課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P134
- 2 「公共施設等整備基準 事前協議」（都市計画課）・・・・・・・・・・・・ P135

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P136

施策： 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導

個人事業名： 都立中川公園整備の検討（企画調整課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な道路や公園等を整備する。					
【事業概要】 ① 都立中川公園の整備に関して、「中川公園整備検討協議会」での住民の意見を反映できるように東京都と協議を行う。 ② 国や都の都市計画道路整備事業の際に、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（通称：バリアフリー新法）」や「移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令（通称：道路移動等円滑化基準）」に基づく道路の整備を進めるよう、協議の場を通じて依頼する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
① 協議回数(中川公園)	目標	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
	結果		1回/年		
② 協議回数(東京都第六建設事務所)	目標	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
	結果		1回/年		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 令和2年10月に協議会を開催した。 年2回の開催予定だったが、コロナ過のため1回しか開催できなかった。 ② 令和2年7月に東京都第六建設事務所と行政事務連絡会を书面開催した。	① 中川公園の整備について、ユニバーサルデザインの視点から意見を東京都に伝えた ② ユニバーサルデザインの視点からの整備をお願いした。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
引き続き、国や東京都にユニバーサルデザイン視点での、整備改良等をお願いしていく。 中川公園の覆蓋化工事について、スケジュールが示された。長期的視点での造成工事や短期的視点で既設部分の改修工事など、機会あるごとに地域の意見を伝えることで、ユニバーサルデザインの視点で整備が進むよう、要望していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導

**個別事業名：「公共施設等整備基準 事前協議」の実施
(都市計画課)**

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な公共施設等を整備する。					
【事業概要】 「足立区公共施設等整備基準」や「公共建築物整備基準のユニバーサルデザインの整備方針・整備基準」を基に、整備前及び完成後に「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」による総合的な協議・指導を行う。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」に適合している割合	目標	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
	結果		90%以上		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>各施設整備の事前協議において、整備内容を精査し、障がい福祉課と協議するように指導した。</p> <p>事前協議の際に「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」の移動空間、行為空間、視覚情報、触知情報や音声情報等の基準を遵守するように指導し、庁内連携して施設整備を行った。</p> <p>※令和2年度事前協議数件数…27件</p>	<p>学校、区民事務所、住区センター、都営住宅等各施設において、高齢者や障がい者等のだれもが利用しやすい施設整備を指導することができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後とも、「ユニバーサルデザイン導入チェックリスト」に基づき、高齢者や障がい者等だれもが利用しやすい施設整備につながるように、関係各課と連携しながら工事担当部局と協議を行っていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


**施策名： 国や都等が整備する公共施設等の
ユニバーサルデザインの誘導**

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

ユニバーサルデザインが浸透して国や都の相手方でもそれを努力したりする意識に繋がっているのかということに関して聞きたかった。公共施設自体は都は都で基準をもっているの、それに準じてやれば自ずとユニバーサルデザインになるはず。他では、苦労しているんなデザインやったりして注意して表出させたりしているところは、どれだけ努力してみんなで共有したり見える化したりしているのか。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>既存施設については一般的には大規模改修や建て替え時に誘導することになるが、状況に応じて、改修等をしっかり要望して早期整備にも対応して欲しい。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て 便利に生活できる『まちづくり』

施策群 だれもが利用しやすい施設等の整備を誘導・支援する

施策 3-(4)-②

民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

施策の個別事業

- 1 ユニバーサルデザインに考慮した民間施設の設備を促進する（障がい福祉課）・・・P138
- 2 小規模事業者経営改善補助金の活用（産業振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P139
- 3 大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進（開発指導課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・P140

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P141

施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した民間施設の整備を促進する（障がい福祉課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。					
【事業概要】 「東京都福祉のまちづくり条例」に基づき、窓口指導を行う。 「東京都福祉のまちづくり条例」に定める整備基準を満たした上で、それに加えて必要となる、店舗等内部における整備の考え方を中心にまとめた「店舗等内部のユニバーサルデザイン整備ガイドライン」の普及促進を図る。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
「東京都福祉のまちづくり条例」に基づく届出件数	目標	50件/年	50件/年	50件/年	50件/年
	結果		52件/年		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
届出件数 52件	<p>特定都市施設の新設・改修時に「東京都福祉のまちづくり条例」の整備基準適合の届出を受理し、整備についての指導・助言を行うことで、ユニバーサルデザインに配慮した整備を図ることができた。</p> <p>上記届出の事前相談時に、施設整備の参考として「店舗等内部のユニバーサルデザイン整備ガイドライン」の内容を紹介し、店舗等のユニバーサルデザイン整備推進に寄与することができた。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
引き続き、「東京都福祉のまちづくり条例」の届出対象となる民間施設の新設・改修の事前相談、届出の際に、整備基準に適合した整備を行うように指導・助言を行いながら、ユニバーサルデザインにも配慮した民間施設の整備を促進していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

個別事業名： 小規模事業者経営改善補助金の活用（産業振興課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】</p> <p>だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。</p> <p>【事業概要】</p> <p>地域経済の活性化や利便性の向上のため、小規模事業者(※)に対して店舗改修費用の補助を行う。</p> <p>※中小企業基本法に既定する従業員 5 人以下の商業・サービス業または従業員 20 人以下の製造業を「小規模事業者」と設定した。</p>					
	計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取組みに対する指標					
補助件数(点/年)	目標	10 件/年	11 件/年	11 件/年	11 件/年
	結果		18 件/年		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	その他(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施)
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区内にある18社の小規模事業者に対し、店舗改修のための経費補助及び経営改善計画の策定支援を実施した。	誰もが利用しやすいよう、トイレを和式から洋式に変更するなど、効果的な支援を行うことができた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
ガイドライン等を活用し、申請者に対しユニバーサルデザインに配慮した店舗改修を引き続き支援していく。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

個別事業名： 大規模店舗等のユニバーサルデザインの推進
(開発指導課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすい安全で安心な民間建築物を整備する。					
【事業概要】 「足立区環境整備基準」に基づくユニバーサルデザインによる施設整備基準による協議・指導を行う。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
建設事業の協議件数(件/年)	目標	25件/年	25件/年	25件/年	25件/年
	結果		12件/年		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>事業者と事前協議を行う際には、ユニバーサルデザインによる施設整備の基準にもとづいて、全ての人々が安全かつ円滑に移動できること、また、だれもが利用しやすいこと等を考慮した施設整備に努めるよう指導・助言を行った。</p> <p>※令和2年度事前協議件数：12件</p>	<p>大規模店舗や公共的建築物等の建設事業者と協議が整い、だれでもトイレの設置等を計画に盛り込んでもらう事が出来た。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>今後とも、ユニバーサルデザインによる施設整備の基準にもとづき、事業者と事前協議する機会を捉えて、だれもが利用しやすい施設整備に努めるよう、指導・助言を行っていく。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： 民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見


【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

実施している内容は良いが、年次計画のところで、達成率が50%しかないのが残念とか計画の半数ほどしか実施されていないと評価されるのは、すごく残念なことだと思う。自分から呼び集めるわけではなく、申請してきたものに対するもので、目標設定自体を見直すもしくは、別の指標で評価をする必要があると考える。

民間建築物のユニバーサルデザイン基準から、今東京都の福祉のまちづくり条例に沿って行っていると思う。足立区はほかの区と比較すると土地が広め、エレベーターの規格を大きくすることができる可能性もあるのではないかと。バリアフリーのリストなどを足立区ならではのリストを作成したり、足立区はさらに厳しい基準でやっているという対策があると良いのではないかと。

足立区内のユニバーサルデザインを総合的に考えたとき、民間建築物のユニバーサルデザインは利用者にとって、最も効果の高い重点的な施策であるべきと思う。なぜなら、私たちの生活する利用施設や周辺施設のほぼすべてが、民間建築物だからである。とくに身近な中小規模の商店等は、それらの使いやすさから高齢者や障がい児・者にとって、直接的に地域での住みやすさの評価につながっている。従って、この施策はユニバーサルデザイン推進事業においても、これからもっと力をいれてもよいのではないかと考える。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>実績評価で見ると厳しい評価となってしまいますが、施策の性格上やむを得ない点もあることは理解しています。事前協議をした事業者においては成立する傾向にあり、ある程度積極的な意思を持った事業者に対しては一定の支援がなされていることがわかります。専門家の助言もいただきながら、きめ細やかに対応している点は、もっとアピールしてもよいと考えます。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』
施策群 参加しやすい開かれた区政を運営する

施策 4-(1)-①

ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理

施策の個別事業

1 ユニバーサルデザイン推進会議の実施（ユニバーサルデザイン担当課）・・・・・・P143

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・P145

施策： ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理
個別事業名： ユニバーサルデザイン推進会議の実施
 (ユニバーサルデザイン担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 ユニバーサルデザインを推進する事業をスパイラルアップさせる。				
【事業概要】 「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」に位置づけられた事業の進捗管理や前年度事業の評価、計画の修正検討を行うため、①「足立区ユニバーサルデザイン推進会議」、②「評価部会」及び③担当所管と事業に関する調整等を行い、事業に反映させる。				
計画年度 取組みに対する指標	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
① 「推進会議」の実施回数 (回/年)	目標	3回	3回	3回
	結果	3回	3回	3回
② 「評価部会」の実施回数 (回/年)	目標	3回	3回	3回
	結果	3回	3回	3回
③ 各事業の関係所管との調整回数 (回/年)	目標	5回	5回	5回
	結果	5回	15回	5回

●自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各会議の実施回数 推進会議 3回 評価部会 3回 調整回数 15回 (オンライン会議等を用いた調整回数含む) ・ ユニバーサルデザイン推進計画の実施予定事業の評価について、協議を行い、策定中のバリアフリー地区別計画について連絡、報告を行った。 	<p>ユニバーサルデザイン推進会議、評価部会の開催を通じて、より高いユニバーサルデザイン事業を推進するための様々な知見や知識を共有することで、より区のユニバーサルデザインに関する事業や施策について、社会状況を踏まえてより実現可能性の高い施策等の検討を行うことができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面での会議が開催できず、オンライン会議にて実施した。</p> <p>それにより、委員等の移動時間やスケジュール調整が短くかつ容易になり、前年度実施事業の評価等を行うことができた</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、開催を判断する。令和3年度も人権問題に関する講演会として「区民企画講座」「人権のつどい」「人権講座」を実施する予定である。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名： ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>コロナ禍の中で様々工夫をして進めており、努力の跡が伺える。 地区別計画については、更に前倒して作成することも検討して欲しい。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』

施策群 参加しやすい開かれた区政を運営する

施策 4-(1)-②

区民の意見を区政に反映させる体制の充実

施策の個別事業

- 1 パブリックコメントの実施（政策経営課）・・・・・・・・・・ P147
- 2 審議会委員等の公募制の推進（政策経営課）・・・・・・・・・・ P149
- 3 審議会等の女性比率向上の取組みについて（区民参画推進課）・・・・・・・・ P151
- 4 「区民の声」のサービスアップの取組み（区民の声相談課）・・・・・・・・ P152
- 5 道路、公園、施設及び通学路の点検
（学務課、ユニバーサルデザイン担当係）・・・・・・・・・・ P153

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P155

施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実
個別事業名： パブリックコメントの実施（政策経営課）
● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 区政の重要な政策や計画に区民の意見を取り入れる。					
【事業概要】 「足立区パブリックコメント実施要綱」及び「足立区パブリックコメント活用マニュアル」に基づき、庁内の該当案件をまとめ、広報等で周知することにより、重要な政策及び計画の策定について区民が意見等を述べる機会を設け、それに対する区の考え方を公表する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
「あだち広報」掲載回数（回/年）	目標 結果	12回	12回 ----- 12回	12回	12回

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>あだち広報掲載については5回実施した。毎月（12回/年）掲載できるように準備をしていたが、4月から8月、1月・3月はパブリックコメントの案件がなかった。</p> <p>毎月、各部に対してパブリックコメント実施案件の有無について調査を実施し、案件を取りまとめて、あだち広報、区ホームページ、Aメールによる周知を行った。</p> <p>パブリックコメントを実施する所管の担当者に対して「足立区パブリックコメント活用マニュアル」を用いて手続きや周知方法等の説明を行った。</p>	<p>2020年度は11案件についてパブリックコメントを実施した。合計で470名、2団体、1法人から846件のご意見をいただき、それに対する区の考え方を公表することができた。</p> <p>パブリックコメント実施所管がツイッター・フェイスブックによる情報発信や音声読み上げソフト・翻訳ソフトに活用できるテキスト形式資料のホームページ掲載、関係する住民や団体等への積極的な資料公表に取り組み、情報発信を強化できた。</p>

4- (1) -② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

実績・効果に対する今後の課題・方針

引き続き、「足立区パブリックコメント活用マニュアル」に基づき、パブリックコメントを実施する所管に対して情報発信強化に向けた取り組みを促すとともに、進捗管理を行っていく。

意見をいただくことができない事案もあり、実施した全ての事案に対して意見をいただけるよう、情報発信・周知活動を改善していく必要がある。HP、広報、など既存の媒体による情報発信に限らず、関係機関・団体への周知を実施所属に働きかけ、「意見提出数」を増やしていく。

令和2年度のUD 推進会議において、委員より『いただいた声に対して「どれだけ計画等に反映できたかを成果指標とすべき』と意見を受けたため、事案ごとに「反映」「反映済み」「今後検討」「反映困難」「その他」で分類し、成果指標として進捗管理を行っていく。

本制度を実施していくことで、区民参画の促進と区政の透明性向上を図るとともに、区民との協働・協創による区政を推進していく。

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

個別事業名： 審議会委員等の公募制の推進（政策経営課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 審議会等に区民の意見を取り入れる。				
【事業概要】 「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、審議事項に照らして必要があると認められる場合には、委員の一部を区民から公募する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
区民公募枠のある審議会等の数 (年2回(7月と12月)に区民公募枠のある審議会等を調査・把握するため、その数を設定した。)	11	11以上 ----- 11	11以上	11以上

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>区民公募枠のある審議会等の数は11で年度内の増減はなかった。</p> <p>多様な人材の参画を促すため、6の審議会がオンライン会議システムの活用を開始した。</p> <p>政策経営課が所管する「足立区区民評価委員会」の区民委員を公募するにあたり、あだち広報や区ホームページでの周知のほか、区民事務所や地域学習センター、保健センター、区内大学、子育てサロンでのチラシ配布を実施した。また、SNS(ツイッター、フェイスブック)を活用した情報発信も行った。</p>	<p>「足立区区民評価委員会」の区民委員を公募したところ、定員6名に対して19名の応募があり前年度から3名増加した。結果的に20代から60代の委員を選考できた。</p> <p>政策経営課が所管する「足立区区民評価委員会」の委員からは、「オンライン会議システムの導入は、子育て世帯や働いている方の参画へつながる。」と声をいただくことができた。</p> <p>区民評価委員の公募用チラシについて、シティプロモーション課と庁内連携を行い、デザインを一新したことで、区民の方に目に止まる機会が増え、応募者の増加につながったものと考えている。また、一定数の方がSNSを見て応募したと答えていたため、若年世代に一定の効果があったと考えている。</p>

4- (1) -② 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

実績・効果に対する今後の課題・方針

区政運営の透明性の向上、簡素効率化等を図るとともに、区民の声を区政に反映するため、毎年度当初、庁内各課に「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」を周知する。

各部において審議会等の新設・改選を行う際は、「足立区審議会等の設置及び運営に関する指針」に基づき、審議事項に照らして必要があると認められる場合には、委員の一部を区民から公募していく。

オンライン会議システムの導入は、多様な人材の参加に効果的であると考えられる。今度、審議会の委員の協議の上、オンライン会議システムの活用を検討していく。

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

個別事業名： 審議会等の女性比率向上の取組みについて (区民参画推進課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 政策・方針の意思決定において、男女のバランスのとれた登用を進める。					
【事業概要】 審議会等委員の女性比率を高める。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
女性比率	目標	32.5%	35%	37.5%	40%
	結果		35.1%		

● 自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
2020年4月1日時点 35.1%	昨年度2020年4月1日時点の32.5%から、計画どおり段階的に向上している。
2022年度に審議会等委員の女性委員の比率が40%になることを目指し、段階的に比率が向上している。	30%未満の所管に対して、聴き取り調査を行い、「女性委員を増やすことができない原因」と「具体的にどの委員の枠にアプローチすることで改善可能か」の整理とアドバイスをを行った。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>「足立区男女共同参画社会推進条例」では、「附属機関(審議会等)の委員の構成について、男女いずれか一方の委員の数が委員総数の10分の4未満となることのないように努める」(第12条)としている。</p> <p>委員会によっては、委員の出身母体にそもそも女性が少ないという状況も所管から声が上がっており、関係する各団体の理解・協力が不可欠である。</p> <p>意思決定の場に女性が少ないという状況を改善し、男女ともに意見を出し合える社会を目指すという本来の目的を周知・説明し、今後も2022年度に40%の目標達成に向けて、各所管に対する聴き取り調査を引き続き実施し、目標値を達成していない会議体について助言を行い、改善に努めていく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

個別事業名：「区民の声」のサービスアップの取組み
(区民の声相談課)

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 「区民の声」に迅速かつ的確に対応することにより、区民ニーズに応え、区政への満足度を向上させる。					
【事業概要】 「区民の声」制度を活用し、区民からの区政に関する意見・要望に対し、迅速に回答する					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
回答までの平均日数	目標	6.3日	5.0日※	5.0日※	5.0日※
	結果		5.0日		

※ 次年度の回答日数の目標値は、「サービスアップ推進会議」で決定する。

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
区長を委員長としたサービスアップ推進会議を開催し、「いつでも、だれでも、どの手段でも」といった区民ファースト、ユニバーサルデザイン的な視点も含めて区民の声制度の質的な向上を図った。	回答までの日数を縮減するとともに、区民に寄り添った懇切丁寧な説明を心掛けることで、区民満足度を高めるよう努めた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
2020年度から、回答文書を作成する際に、「区民の声回答書 満足度を向上させよう！チェックリスト」を活用することで、起案者、決裁者が満足度向上の視点で記載されていることをダブルチェックで行うように変更した。	
さらに2021年度から、チェックリストに「結論を先に書く」「実現予定の場合は時期の目安を明確にする」といった項目を追加し、より分かりやすく丁寧な回答をチェックすることで意識付けできるように変更した。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実
個別事業名： 道路、公園、施設及び通学路の点検
 (学務課、ユニバーサルデザイン担当課)

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 検証から様々な人の意見を基に、だれもが利用しやすいまちをつくる。					
【事業概要】 障がいのある方や乳幼児子育て中の方々とともに、実際にまちを歩き、道路や公園、施設等の安全性や利便性、バリアフリー状況について検証する。 学校関係者、道路管理者、警察署とともに、小学校の通学路点検を実施し、検証する。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
まち歩き等を実施	目標	実施する機会ごとに随時			
	結果		実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校関係者、道路管理者、警察署と合同で令和2年度は区内20の小学校で延べ23回通学路合同点検を実施した。 <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー協議会区民部会の中で、バリアフリー地区別計画策定予定範囲にて区民部会員(学識経験者、関係団体の方々、地元区民)にまち歩き点検を行っていただいた。 	<p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学校の通学路で交通安全上の課題のある箇所を関係者が合同で点検し、スクールゾーンの路面表示やグリーンベルトなど、児童が安全に通学できるまちづくりにむけた改善策を講じた。 <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者ならではの様々な視点からまち歩き点検の意見を集約し、バリアフリー状況について検証をし、区で管理している事業の所管課や、まち歩きを行った範囲内の事業者の方へ検証結果を伝えた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>【学務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度～28年度は通学路表示板(文マーク)の更新に取り組み、平成29年度からスクールゾーンの路面表示やグリーンベルトの施工等を実施してきた。引き続き学校関係者、道路管理者、警察署と連携して合同点検に取り組み、通学路の安全確保を図っていく。また、評価部会での指摘を受け、各校のレベルが担保できるよう、各小学校で作成している「通学路安全マップ」を区内全校に情報提供する予定である。 <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染状況により、まち歩き点検の開催が難しい場合があるため、感染状況に関わらず実施するために、実施の方法について検討する。 	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 区民の意見を区政に反映させる体制の充実

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

学務課や、ユニバーサルデザイン担当課でまち歩きの点検をしている時に、例えば民有地の植栽が伸び過ぎていて死角ができているなどのことで子どもだけではなく、障がいのある方や高齢の方にとっても危険であったりする。そういう点においての区役所全体での知見の共有が図れるとより良いと思う。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>各々の施策で、効果をあげていることが理解できます。一つの施策の中で、また関連する事業とのさらなる連携の発展を期待します。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』

施策群 だれにでも伝わる情報を作成・発信する

施策 4-(2)-①

ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用

施策の個別事業

- 1 外注印刷物作成報告書の確認（総務課）・・・・・・・・・・ P157
- 2 ウェアアクセシビリティに配慮した情報発信（報道広報課）・・・・・・・・・・ P158

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・・・・・・・・ P159

施策：ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用
個別事業名：外注印刷物作成報告書の確認（総務課）
●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもがわかりやすい印刷物の作成方法を周知し、わかりやすい印刷物の作成に寄与する。					
【事業概要】 ①「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」や「カラーユニバーサルデザインガイドライン」の基準の適正化を図る。 ②外部に印刷を委託して作成した印刷物については、外注印刷物作成報告書から印刷物の内容を確認する。必要に応じて指導を行い、次回の印刷物作成時に改善を促す。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	取組みに対する指標				
① 実施内容(ガイドラインの運用)	目標	改正	運用	→	
	結果		実施した		
② 印刷物作成時のユニバーサルデザイン実施の確認及び指導	目標	必要に応じて		→	
	結果	指導	実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画を一部変更して進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
① 印刷物ガイドラインについて改正し、全庁に周知した。 ② 年間、358件の外注印刷物作成報告書について、総務課として確認し、1件の指導を行った。また、外注印刷物作成報告書を一部改正し、2020年度より、チェック項目を増設し運用している。	① 運用方法に変更があった事務について改めた。 ② 区民向けパンフレットやリーフレットは、ユニバーサルデザインに特に配慮がなされていることが確認できる。課題があった1件については、文字の強調方法において課題があり、フォントや大きさによる強調をするよう指導した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
① カラーユニバーサルデザインガイドラインについて見直しを行う。 ② 区の印刷物は、受け取る対象者に応じた表現や見せ方をするための工夫が必要である。ユニバーサルデザインの観点から引き続き印刷物を確認していく。	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

4- (2) -① だれにでも伝わる情報を作成・発信する

施策：ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用

個別事業名：ウェブアクセシビリティに配慮した情報発信（報道広報課）

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすいホームページにする。					
【事業概要】 「足立区ホームページアクセシビリティガイドライン」の基準を適正化し、職員に遵守させる。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取り組みに対する指標					
実施内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">結果</div>	改定	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">運用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">実施した</div>		改定

● 自己評価結果と実施状況等


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
インターネットリーダーを対象に映像による研修を実施(対象者 102名) ウェブアクセシビリティ確保の必要について周知をおこなった。	実施効果:アクセシビリティに対し「とても理解できた」及び「理解できた」と回答した割合 95.3% 参加者コメント(抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットリーダー以外も対象にするべきと思った。 ・ アクセシビリティの重要性について、再確認することができた。 ・ 相手目線に立ち、文書を作ることを今後意識していこうと思いました。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
実施効果:アクセシビリティに対し「とても理解できた」及び「理解できた」と回答した割合 95.3% 参加者コメント(抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットリーダー以外も対象にするべきと思った。 ・ アクセシビリティの重要性について、再確認することができた。 ・ 相手目線に立ち、文書を作ることを今後意識していこうと思いました。 	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：ユニバーサルデザインに配慮した情報に関する基準の運用

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
効果はしっかり現れていると思うので、今後職員の意識を高めるよう取り組んで欲しい。	★★★★★  5段階評価の 5点

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』

施策群 だれにでも伝わる情報を作成・発信する

施策 4-(2)-②

わかりやすい表現による印刷物の作成

施策の個別事業

- 1 だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する（報道広報課）・・・P161
- 2 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する（関係各課）・・・P163

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P166

施策： わかりやすい表現による印刷物の作成
**個別事業名： だれでも読みやすい「あだち広報」を作成し発信する
(報道広報課)**
●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 だれもがわかりやすい冊子、パンフレット、広報紙等を作成する。				
【事業概要】 ・計画冊子、啓発パンフレット、広報紙等について、「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」に基づいて作成する。 ・バリエーション等の色弱模擬フィルターを活用する(総務課文書係にて貸出)。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行	毎月2号ずつ 年2回発行
印刷物作成時におけるユニバーサルデザイン実施の有無及び確認製品等の活用	目標	実施した		
	結果			

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントを採用。 ・あだち広報の音声版「声の広報」のテープ版・デジタルCD版を発行。 ・音声読み上げソフトに対応した「あだち広報のテキスト版」をホームページに掲載。 ・ユニバーサルデザインチェック用の専用メガネやスマートフォンアプリを使って、カラーページの色味を確認し、色差が小さく見づらい箇所は、色の変更や明るさの調整を行った。 ・文章や写真だけでは意図が伝わりにくい場合は、イラストを積極活用し視覚化することで、記事内容をわかりやすくした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や色味に関する意見や苦情等をほぼ受けることなく、年間24回の発行を終えた。 ・直接的な効果ではないが、東京都広報コンクールの広報紙部門で奨励賞という評価を受けた。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに配慮した広報紙づくりを今後も徹底していく。 ・表紙や特集記事等のカラー面を中心に、メリハリのある文字配置や余白を効果的に使ったレイアウト等を行うことで、紙面の見やすさや読みやすさをさらに高めていく。 	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： わかりやすい表現による印刷物の作成

個別事業名： ユニバーサルデザインに配慮した印刷物を作成する
(関係各課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
<p>【目的】 だれもがわかりやすい冊子、パンフレット、広報紙等を作成する。</p> <p>【事業概要】 計画冊子、啓発パンフレット、広報紙等について、「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物ガイドライン」に基づいて作成する。 バリエーション等の色弱模擬フィルターを活用する(総務課文書係にて貸出)。</p>				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
印刷物作成時におけるユニバーサルデザイン実施の有無及び確認製品等の活用	目標	冊子作成時		
	結果	実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【スポーツ振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パラスポーツのように一般には知られていないスポーツに関して、競技イラストを載せることで、競技へのイメージが掴みやすくなるよう工夫した。また、ユニバーサルデザインに関しても配慮し、受け手の目にどのように映るかを確認しながら作成した。 ・ 印刷物の委託仕様書に、ユニバーサルデザインに配慮することを明記した。 <p>【足立清掃事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年作成しているごみの分別リーフレット「資源の出し方 ごみの出し方」において、カラーユニバーサルデザイン及び、ページの構成に配慮をして、計 45,000 部作成した。 <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー新法第25条に規定する基本構想(バリアフリー地区別計画)を下記地区において、策定業務委託により作成した。 足立区バリアフリー地区別計画 (江北周辺地区) 製本版 400 部 パンフレット 1,000 部 <p>【竹の塚整備推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章や写真だけでは意図が伝わりにくいため、イラストを積極活用し、視覚化することで、一目で記事内容を理解できるよう心掛けた。 <p>【都市計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足立区景観計画の改定に伴う計画冊子の作成を、ユニバーサルデザインに配慮して実施した。 ・ 足立区景観計画の改定に伴い、区民向けの啓発リーフレットの作成を、ユニバーサルデザインに配慮して実施した。 <p>【みどり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三次足立区緑の基本計画を、ユニバーサルデザインに配慮し作成した。 	<p>【スポーツ振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザインに配慮することで、色覚に障がいのある方にも見やすい印刷物を作成することができた。 ・ イラスト使用により、各競技の特徴を表現することができた。 <p>【足立清掃事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目の不自由な方でも、ごみの品目等を認識しやすいよう配色や文字の大きさに配慮するとともに、一部の文字の大きさを昨年度のものから変更し、見やすいリーフレットを作成することができた。 <p>【ユニバーサルデザイン担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作成にあたっては、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントに加え、音声ガイドの Uni-Voice を用いて、誰もが見やすくわかりやすい地区別計画及びパンフレットとなるように工夫を施した。 <p>【竹の塚整備推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の内容をイメージしやすくするため、イラストを使用し、わかりやすく表現することができた。 <p>【都市計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい色同士、暗い色同士の組み合わせを避けたり、背景と文字の明度差をはっきりさせるなどとともに、色弱模擬フィルターを活用してより多くの方が判別できるように配慮した。また、図や表の作成にあたっては、凡例表記に加え、図や表の中にも直接説明の書き込みを行った。 ・ レイアウトや文字の大きさを工夫するとともに、誰もが見やすく分かりやすいリーフレットを作成することができた。 <p>【みどり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文字(字体・間隔・強調)、表現方法や配色に注意するとともに、イラストや写真、図表を使い、だれにでも見やすい印刷物となった。

実績・効果に対する今後の課題・方針

【スポーツ振興課】

- ・ 今後も、ユニバーサルデザインに充分配慮し、誰にでも分かりやすいポスター・チラシの作成を心掛けていく。

【足立清掃事務所】

- ・ CUD(カラーユニバーサルデザイン)に配慮しつつ、職員も色弱模擬フィルターを利用して今後とも誰にでも見やすい物を作成していく。
- ・ 「やさしい日本語」を念頭に置きながら、誰にでも使いやすくわかりやすいリーフレットの作成を心がけていく。

【ユニバーサルデザイン担当課】

- ・ バリアフリー地区別計画は、策定する10地区全てにおいて、様々な立場の人がバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりに寄与するために必要な計画であり、今後も印刷物にあたっては、カラーユニバーサルデザインに配慮するのは当然のことながら、Uni-Voice などの新たな手法や取り組みも活用し、誰もが見やすく、わかりやすい印刷物を率先して作成する。

【竹の塚整備推進課】

- ・ 今後の印刷物作成にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮し、区の施策が多くの区民の方に理解されるよう努める。

【都市計画課】

- ・ 今後も印刷物の作成にあたっては、より見やすく分かりやすい文字やページ構成に工夫を重ねていくこととあわせて、やさしい日本語表現を心がけていく。

【みどり推進課】


- ・ 今後も印刷物の作成時には、ユニバーサルデザインに配慮し作成する。

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名：ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>これまで積み上げてきた各課の経験を全庁で共有できるような機会があると、足立区全体でレベルアップできるのではないかと。</p>	<p>★★★★★  5段階評価の 5点</p>

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』

施策群 だれにでも伝わる情報を作成・発信する

施策 4-(2)-③

だれもが利用しやすい電子情報の作成

施策の個別事業

- 1 区ホームページの改善と SNS 発信力強化（報道広報課）・・・ P168
- 2 区議会ホームページの作成（区議会事務局）・・・ P170

施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・ P171

施策： だれもが利用しやすい電子情報の作成

個別事業名： 区ホームページの改善と SNS 発信力強化
(報道広報課)

● 施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 だれもが利用しやすいホームページの作成及びSNS発信を行う。</p> <p>【事業概要】 「足立区ホームページアクセシビリティ(※)ガイドライン」に基づき、ホームページ作成・運用が実現できる体制を整える。</p> <p>※アクセシビリティ:年齢や身体障がいの有無に関係なく、言語の違いや、どんな機器でも、だれでも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること。</p>					
	計画年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
	取組みに対する指標				
実施内容	目標	ホームページ再構築設計・構築	ホームページ見直し・課題対応		
	結果		実施した		
実施期間(継続して実施)	目標	ホームページ全件点検・ページ移行	アクセシビリティ試験実施・結果公開		
	結果		実施した		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・タブレット向けニュースアプリ「SmartNews(スマートニュース)」の「足立区チャンネル」を開設した。区のホームページに掲載した重要なお知らせ、トピックス、ニュースリリースが掲載され、多くの方が足立区の情報をとるツールとなる。 令和2年5月末からは、区のホームページに外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」を導入した。各ページでやさしい日本語に変換することでルビが振られ、外国人にわかり易い表現で表示する。 令和3年3月末にホームページについて、ウェブサイトのアクセシビリティに関する日本工業規格(JIS X 8341-3:2016「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第3部:ウェブコンテンツ」)に基づき、試験を実施。適合レベルAAに一部準拠。試験結果の公開を行った。 <p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月、反響が多かった記事トップ5を掲示板に掲載。どのような記事に反応があるのかコツやポイントを成功事例としてレポート。 効果的なSNSの書き方を情報発信研修で行った。 災害情報を発信するツールとして足立区LINE公式アカウントを令和2年9月に開設した。また、LINEでは月2回、電子媒体版の広報紙の配信を行い、区の情報を配信している。 	<ul style="list-style-type: none"> より多くの方に足立区の情報を得やすくするため、令和2年4月1日から「SmartNews(スマートニュース)」の「足立区チャンネル」を開設。 令和2年5月20日から「やさしい日本語」を導入。 アクセシビリティ試験を行い、公開を行った。 <p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度と比べて投稿数が増加。投稿記事の品質も向上しており、フォロワー数やいいね数(反響数)が増加している。また、新たにLINEの開設。 <p>[Twitter] ※令和元年度比 フォロワー数 5,562 人増 投稿数 78 件増 いいね数 36,057 増</p> <p>[Facebook] ※令和元年度比 フォロワー数 762 人増 投稿数 96 件増 いいね数 10,747 増</p> <p>[LINE] 友だち登録数 19,644 人(令和3年3月末時点)</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>タイトルや記事内容のわかり易さ等、ホームページ特有のスキルを向上させるための職員研修を引き続き行う。</p> <p>昨年度に引き続き、ウェブサイトのアクセシビリティに関する日本工業規格である JIS X 8341-3:2016</p> <p>「高齢者・障害者等配慮設計指針-情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス-第3部:ウェブコンテンツ」に基づき、試験を実施する。</p> <p>また、Facebook が提供するタイムラインのプラグインはアクセシビリティ達成基準を満たしていないが、利便性を考え、機能として引き続き組み込んでいく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

4- (2) -③ だれもが利用しやすい電子情報の作成

施策： だれもが利用しやすい電子情報の作成

個別事業名： 区議会ホームページの作成（区議会事務局）

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 だれもが利用しやすいホームページ等を作成する。					
【事業概要】 議長が主催する「足立区議会広報委員会」での意見を基に、掲載内容の変更等を行う。					
	計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
更新回数(回/年)	目標	6回	6回	6回	6回
	結果		6回		

● **自己評価結果と実施状況等**


自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
足立区議会ホームページは、令和2年2月にリニューアルし、読み上げソフトの導入、検索機能の向上やアクセシビリティを意識した誰もが見やすい、分かりやすい情報提供を行っている。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う傍聴に関するお願いや議会活動にかかるお知らせ等、定例会以外の更新が多かったが、音声読み上げソフトに対応した表記にする等、適宜対応した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
読み上げソフトに対応した語句表記を徹底し、常にユニバーサルデザインを意識した更新を維持していく。	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価

施策名: だれもが利用しやすい電子情報の作成

●施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>ICTによる情報発信や取得は必須のものとなり、多くの方たちの支援の土台になると考えられます。HPを見ている人だけでなく、見に来ることができない人(デバイス、通信環境、スキル)へのサポートや、初心者の方の目線でのアクセシビリティの検証を期待します。</p>	<p>★★★★☆  5段階評価の 4点</p>

柱立て みんなに役立つ『しくみづくり』
施策群 災害から身を守る情報を提供する

施策 4-(3)-①

効果的な防災・災害情報等の提供

施策の個別事業

- 1 Aメール・安心電話による台風第19号関連の情報発信（報道広報課）・・・P173
- 2 災害時に必要な情報の提供（災害対策課）・・・P175
- 3 洪水ハザードマップによる水害情報の発信（企画調整課）・・・P177


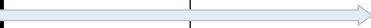
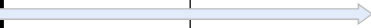
施策の評価

ユニバーサルデザイン推進会議による評価・・・P178

施策： 災害から身を守る情報等の提供

**個別事業名： Aメール・安心電話による台風第 19 号関連の情報発信
(報道広報課)**

●施策に対する事業の概要

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
<p>【目的】 災害時に必要な情報をだれにでも届くようにする。</p> <p>【事業概要】 ①Aメールを周知し、登録件数の増加を図る。 ②Aメールを活用し、必要な災害情報を迅速に発信する。 ③緊急情報伝達システム「あだち安心電話」では大雨や台風による河川の水位上昇・氾濫のおそれがあるときに、電話で対象地域に一斉に音声を送信し、河川水位や避難情報などを伝える。</p>					
計画年度		2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
取組みに対する指標					
Aメールの登録件数	目標	累計	累計	登録増加に向けた周知活動	
	結果	81,000 件	87,000 件 94,071 件		
Aメールでの災害情報の発信状況	目標	災害等発生時			
	結果		実施した		
「あだち安心電話」による情報発信状況	目標	必要に応じて			
	結果		26,032 件		

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>【A-メール】 台風情報や土のうの配布情報の配信を適宜配信した。</p> <p>【安心電話】 令和2年度は、河川の水位上昇及び氾濫の恐れがなく、配信なし</p> <p>【安心FAX】 ※ユニバーサルデザイン推進計画に追加して新たに実施 令和2年度は、河川の水位上昇及び氾濫の恐れがなく、配信なし</p> <p>【LINE】 ※ユニバーサルデザイン推進計画に追加して新たに実施 台風情報や月2回電子版あだち広報を配信した。</p>	<p>【A-メール】 登録者に適宜情報の配信を行った。 登録件数は、91,672件(令和2年3月末)から94,071件(令和3年3月末)に増加した。</p> <p>【安心電話】 避難行動要支援者への周知を実施し、22,366件(令和2年3月末)から26,032件(令和3年3月末)に増加した。</p> <p>【安心FAX】 ろう者協会と協力し周知を実施。 登録者:193件(令和3年3月末)</p> <p>【LINE】 LINE開設の卓上POPなど作成し周知を実施。 友だち登録者:19,644件(令和3年3月末)</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>【A-メール】 民生委員などの協力を得ながらA-メール登録件数増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【安心電話】 登録件数の増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【安心FAX】 ろう者協会と協力しながら登録件数の増加促進のための周知を実施する。</p> <p>【LINE】 区民事務所や学校、子育て施設などの協力を得ながら登録件数の増加促進のための周知を実施する。 令和2年度末に発生した個人情報の問題について、国やLINE社の対応を注視していく。</p>	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 災害から身を守る情報等の提供

個別事業名： 災害時に必要な情報の提供（災害対策課）

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画					
【目的】 災害時に必要な情報をだれにでも届くようにする。					
【事業概要】 ①防災行政無線のスピーカーを新設・更新する。 ②災害時に必要となる一時集合場所標示板・避難場所標識等の情報の多言語化を図る。 ③安全な避難誘導を行うため、避難場所等の所在地等の情報を防災ナビで表示する。 ④足立区公式ツイッター、フェイスブック等で災害情報を提供する。					
計画年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標					
整備箇所数	目標	70 か所	53 か所	移設等必要時に	
	結果		51 か所		
整備場所	目標	避難場所標識 60 か所	75 か所 70 か所		
		一時集合場所 標識 10 か所	10 か所 10 か所	10 か所	10 か所
	結果	海拔表示 100 か所	100 か所 100 か所	100 か所	100 か所
更新頻度	目標	変更の都度			
	結果				
提供頻度	目標	災害発生時に			
	結果				

●自己評価結果と実施状況等

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<p>① 防災行政無線を18か所新設、30か所更新、3か所移設(計51か所)</p> <p>② 避難場所標識70か所、一時集合場所10か所、海拔表示100か所の多言語化実施。</p> <p>③ テレドーム導入に基づき、防災ナビ内にて、連絡先等の変更を反映させた。</p> <p>・ 災害用デジタルサイネージの再構築を実施することで、新たに災害情報を提供できる媒体を増強した。</p>	<p>① 「聞こえない」「聞こえにくい」地域の改善ができた。</p> <p>② 前年度に引き続き、多言語化することでより外国の方に対する情報提供が可能になった。</p> <p>③ 数千回線のテレドーム利用を周知することで、防災行政無線の聴き取り向上につながった。</p> <p>④ 回線状況や画質向上、2画面化等により、より良い情報発信が可能となった。</p>
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<p>① 令和2年度をもって、防災行政無線の新設・更新事業は終了となったが、引き続き、「聞こえない」「聞こえにくい」地域の改善に努める。</p> <p>② 令和2年度をもって、すべての避難場所標識の多言語化は完了した。今後は、文字表示および地図表示の状態の悪い標識の修繕をしていく。また、一時集合場所及び海拔表示については、引き続き毎年予定通り実施していく。</p> <p>③ 防災マップ&ガイドの更改に伴い、防災ナビ内のデータも更新していく。また、防災ナビだけでなく、災害情報システムにおいても避難所の最新情報など最新のものが閲覧できるよう更新を随時していく。</p> <p>災害情報については、必要に応じて他の所管と連携して、様々なツールを使い、わかりやすい情報提供に努める。</p>	

【結果の凡例】 … 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策： 災害から身を守る情報等の提供

個別事業名： 洪水ハザードマップによる水害情報の発信（企画調整課）

● **施策に対する事業の概要**

施策に対する事業の目的・取組みに対する指標及び年次計画				
【目的】 日頃から水害に備え、水害発生時に安全かつ速やかな避難ができるよう情報を提供する。				
【事業概要】 ①カラーユニバーサルデザインに配慮した洪水ハザードマップを作成し、区内全戸に配布する。区転入者には随時配布する。 ②洪水ハザードマップ啓発映像を足立区公式動画サイト等で公開するなどして、周知を図る。 ③出水期(6～10月)前や台風接近時などに、足立区公式ツイッター等で洪水ハザードマップに関する情報を発信する。				
計画年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
取組みに対する指標				
ハザードマップ作成及び配布に関する進捗、配布部数	目標 作成	20,000部/年	20,000部/年	20,000部/年
	結果 全戸配布	35,000部配布		
ハザードマップの周知方法	目標 啓発映像	周知活動		
	結果 制作	継続実施		
ハザードマップの情報発信回数	目標 4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年	4回以上/年
	結果 4回	4回		

● **自己評価結果と実施状況等**

自己評価結果	計画どおり進行
実績・UDとして実施したこと	効果・UDの視点で達成できたこと
<ul style="list-style-type: none"> 区転入者や洪水ハザードマップ未所有の区民等に冊子約35,000部を配布した。 梅雨入り時や台風の接近が予想された際に、SNSを活用して洪水ハザードマップの確認等を促す情報発信を計4回行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 足立区の公式動画サイトで公開している洪水ハザードマップ解説動画が令和2年度に約2万回再生され、周知や理解の促進に寄与した。
実績・効果に対する今後の課題・方針	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度はイベントでのPRなど対面による周知活動を実施することができなかった。今後も影響が懸念されることから、SNS等をより活用し、情報発信や理解の促進を進める。 	

【結果の凡例】… 計画どおり進行/計画を一部変更して進行/その他

施策の評価


施策名： 効果的な防災・災害情報等の提供

● 施策に対するユニバーサルデザイン推進会議評価部会での意見

【ユニバーサルデザイン推進会議の委員の意見】

A-メールや防災ナビのアプリのDL数等、区で共通して取り組みの効果測定ができるように何かお考えいただきたい。区民アンケートなどで、「ふだんどういふデバイスを使っていますか」、「こういうアプリケーションやメール、電話等のサービスを使っていますか」と質問し、どの地域に住んでいる何歳ぐらいの人たちは、どれぐらいの割合でこれを使っているのだということを把握できると、施策の展開に役に立つと思う。そういった補足していく仕組みを盛り込むことを全体的にぜひ進めていただきたい。

● 施策の総括意見と総合評価

総括意見	総合評価
<p>各種取り組みを精力的に進めていると評価します。例えば、「ハザードマップを見たことがある」と「それを理解している」、「理解し、必要なときに適切な行動を取れる」は異なります。</p> <p>また、アプリのDL件数のうち、アクティブな件数がどれぐらいかの把握を行う等、取り組み成果の【実効性】に着目した評価や取り組みのブラッシュアップを行える仕組みを検討して下さい。</p> <p>加えて、エリアや属性等、情報の受け取りと理解がどの層に足りないか、災害時にはどのようなリスクのある群なのか等のクロス集計も行い、施策が進化されることを期待します。</p>	<p>★★★★☆</p>  <p>5段階評価の 4点</p>